

SHARP®

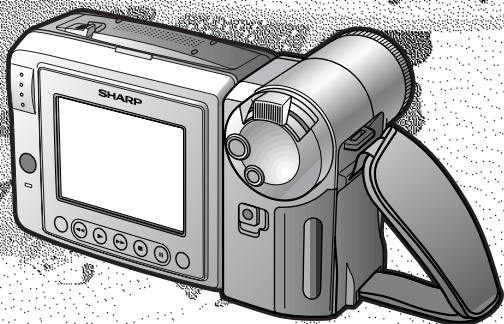
取扱説明書

液晶8ミリビデオカメラ

フイ エル イー エイチ

形名 **VL-EH500**

Hi8 液晶ビューカム



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。.... 6ページ

- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。



	ページ
簡単に使ってみる	4
安全にお使いいただくために	6
使用上のご注意	13
バッテリーパックについて	16
付属品	18

撮影の前に

準備

各部のなまえ	20
リモコンで操作する	22
バッテリーパックを本体に取り付ける	24
バッテリーパックを充電する	25
ご家庭のコンセントで使う	26
画面表示について	27
いろいろな機能と設定のしかた	28
ボタン電池を本体に入れる	31
日付と時刻を設定する	32
ビデオテープを入れる	34

撮影と再生

撮る

カメラの持ちかた・かまえかた	36
レンズキャップの取り付けかた	36
ハンドストラップを調整する	37
レンズフードを外す	37
ショルダーベルトを取り付ける	37
撮影の準備	38
撮影日時をテープに記録するとき	39
撮影する	40
デジタルズームを使う	41
手ブレを少なくする(ブレ補正)	42
逆光の中や暗いところで撮影する(ガンマ撮影)	43
近くものを撮る(接写)	44
正しく撮影されているか確認する(サツエイカクニン)	45
撮影した映像をその場で確認する(録画サーチ)	46
前回の撮影終了場面につなげて撮影する(撮影スタンバイ)	47

見る

再生する	48
音量を調整する	49
いろいろな再生機能を使う	50
テレビにつないで見る	52
モニター画面を消すことができます(画面消灯機能)	53
バッテリーとテープの残量表示について	54

大切な撮影(旅行・結婚式など)の場合には、かならず事前に試し撮りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。

ページ

いろいろな機能

瞬時に拡大して撮影する(瞬間ズーム).....	56
作品のスタート・ラストシーンを効果的に撮影する(フェード).....	57
静止画を撮影する(スナップ/スチル/フォトモード).....	58
子画面を入れて撮影する(ピクチャー・イン・ピクチャー).....	60
連写で撮影する(ストロボ撮影).....	62
演出して撮影する(撮影効果).....	63
手動で明るさを設定する.....	64
ワイド画面(16:9)で撮影する.....	65
状況に合わせて撮影する(シーンアジャスト).....	66
自分で自分を撮影する(対面撮影).....	68
メッセージを残してもら(対面メッセージ撮影).....	70
手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス).....	72
ホワイトバランスをロックする.....	74
フルオートで撮影する.....	75
録画・再生の経過時間を表示する(カウンター表示).....	76
見たい場面を頭出しする(カウンターメモリー).....	77
撮影した場面を頭出しして見る(再生スタンバイ).....	78
暗い部分を明るくして再生する(ガンマ再生).....	79
液晶モニターの映像を調整する.....	80

編集

撮影した映像をビデオデッキで編集する.....	82
ビデオプリンタと接続する.....	84

役立つ情報

撮りかたの基本.....	86
海外の電源コンセントについて.....	88
Hi8 について.....	89
ビデオテープについて.....	90
つゆ付き(結露)について.....	91
ヘッドの汚れについて.....	92
警告表示とお知らせメッセージ.....	93
故障かな?と思ったら.....	94
保証とアフターサービスについて.....	96
仕様.....	97
お客様ご相談窓口のご案内.....	98
海外でのお客様ご相談窓口.....	101
用語の解説.....	102
Quick Start Guide.....	103

安全な使いかた

撮影の前に

撮影と再生

いろいろな機能

編集

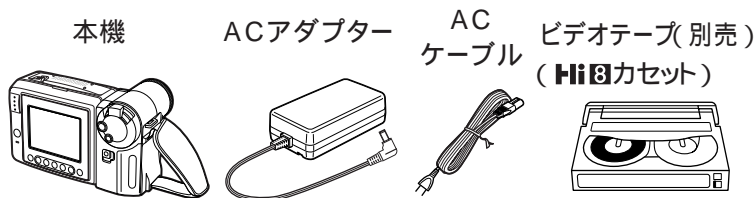
役立つ情報

簡単に使ってみる

家庭用のコンセントからACアダプターを使って、撮影と再生をする手順です。
バッテリーパックを使用する場合は、バッテリーパックを充電してからお使いください。
(25ページ)

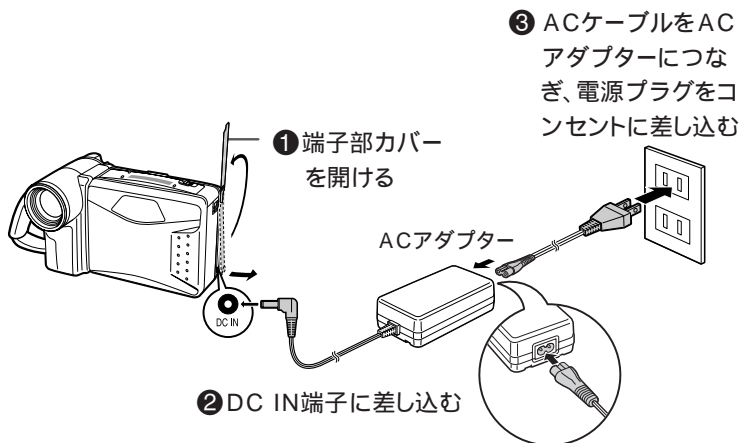
準備

まず撮って、
見るために
必要なもの



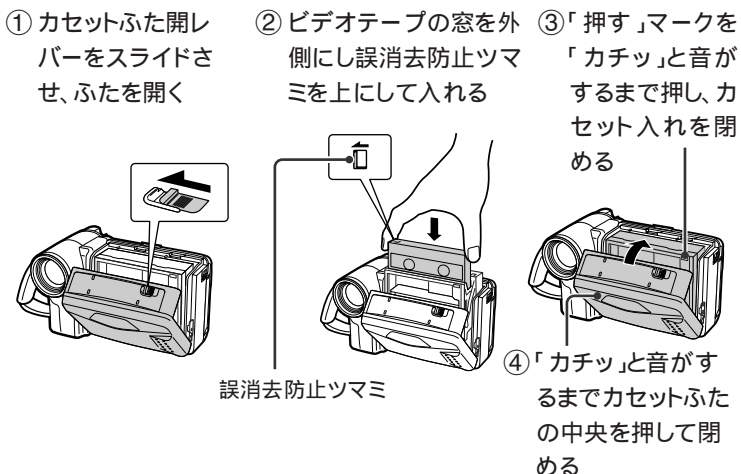
1

電源をつなぐ
(26ページ)



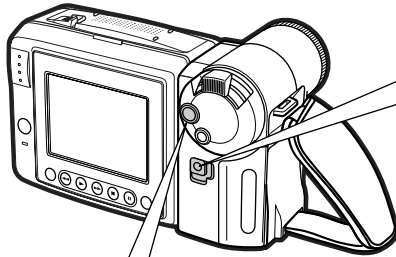
2

ビデオテープ
を入れる
(34ページ)



3

撮る
(38ページ)



① ロックボタンを押したまま電源スイッチを「カメラ」にスライドする



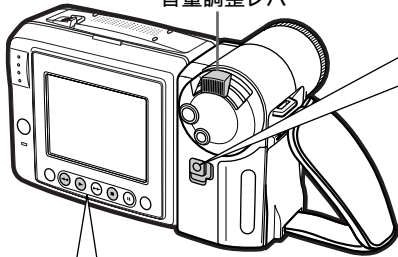
② 押す
撮影が始まります。
もう一度押すと止まります。



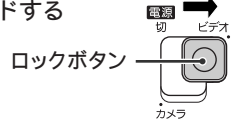
4

見る
(48ページ)

音量調整レバー



① ロックボタンを押したまま電源スイッチを「ビデオ」にスライドする



② 操作ボタンを押す



1. ◀◀ 巻戻し を押し、テープを巻き戻す。
2. ■ 停止 を押し、テープを止める。
3. ▶▶ 再生 を押し、撮影したシーンを見る。

③ 音量を調整する

音量調整レバーを動かし、お好みの音量に調整します。

安全にお使いいただくために

ご使用前に

●「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくための、いろいろな絵表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

(絵表示の一例です)



.....
気をつける必要があることを表しています。



.....
してはいけないことを表しています。



.....
しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて(ACアダプター使用時) 販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- このビデオカメラを落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて(ACアダプター使用時) 販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

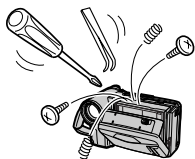
ボタン電池は幼児の手の届かないところへ置く
飲み込んだときは、ただちに医師と相談を

- ボタン電池を取り外した場合は、誤って口に入れることがないように保管してください。飲み込んで胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。



キャビネットは絶対に開けない

- 感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
- このビデオカメラを分解したり改造しないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。



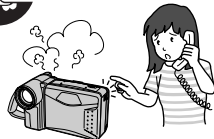
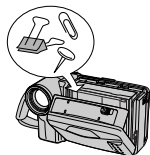
不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



内部に物や水などを入れない

- このビデオカメラの開口部(通風孔、ビデオテープの挿入口など)から内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭では注意してください。
- 異物や水がビデオカメラの内部に入った場合は、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて(ACアダプター使用時)販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭では注意してください。



レンズに太陽等の強い光が進入する状態で長時間放置しない

- レンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。



警告

水をかけたり濡らしたりしない

- 水が入ったり、ぬらさないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



移動中は液晶モニターを見ない

- 自動車などの運転中や歩行中に操作をしたり、モニターを見ないでください。けがをしたり、交通事故を起こす原因となります。動きながら撮影するときは、まわりに気をつけてください。



注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



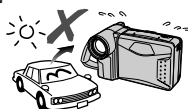
ビデオテープ挿入口などのすきまに手を入れない

- ビデオテープ挿入口から、手を入れないようにしてください。けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



日中の窓を閉めきった自動車の中など、異常に温度が高くなる場所に放置しない

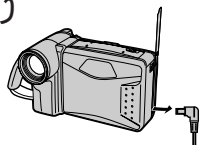
- キャビネットが高温になり、さわるとやけどの原因となることがあります。



⚠️ 注意

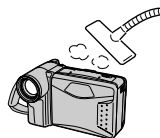
お手入れのときは電源供給機器を本機から取り外す

- 感電の原因となることがあります。
(ACアダプター使用時)



3年に一度くらいはビデオカメラ内部の清掃を販売店に依頼する

- 内部にほこりがたまったら、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。



液晶モニターに衝撃をあたえない

- ガラスでできていますので、割れるとけがをする恐れがあります。



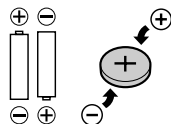
指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

- 電池の破裂・液もれによって、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池を入れるときは極性表示(プラス \oplus とマイナス \ominus)の向きを間違えない

- 間違えると電池の破裂・液もれによって、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



機器の上に乗らない

- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。こわれたり、けがの原因となることがあります。



つづく

安全にお使いいただくために(つづき)

バッテリーパックについて

⚠危険

バッテリーパックの取り扱いについて

- バッテリーパックを使用するときは、次のことを必ず守ってください。バッテリーパックを液もれ、発熱、破れつさせる原因となります。
- 1. 分解や改造をしたり、端子に直接ハンダ付けしない。
- 2. 取り外したバッテリーパックの± 極と⊖極を針金・ネックレスなどの金属類でショートさせない。
- 3. 直射日光の当たるところや自動車のダッシュボードなどの高温(60 以上)になるところに置かない。
- 4. 水や火の中に投入したり、加熱したりしない。



⚠警告

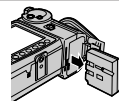
バッテリーパックの取り扱いについて

- 1. 持ち運ぶ際は必ず保護カバーをする。
- 2. 強い衝撃を与えたり落下をさせない。
- 3. 子供の手の届かぬところに置かない。
- 4. 電子レンジや洗濯機に入れない。
- 乳幼児の手の届かない所で使用、保管してください。
- バッテリーパック内部の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合には皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。



⚠注意

安全のため、ご使用後は必ずバッテリーパックを取り外し、涼しい場所に保存する



バッテリーパックを充電するときに

- 充電するときは、10 ~ 30 の範囲で使用してください。この温度範囲以外では、バッテリーパックの液もれ、発熱、破れつの原因となることがあります。



ACアダプターについて

 **警告**

ACアダプターの取扱いについて

- 本体や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。感電、発熱、発火の原因となります。



ACアダプターの電源コードを破損するようなことはしない

- 電源コードを傷つけたり、加工したり無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが機器の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



雷が鳴り出したらACアダプターの電源プラグには触れない

- 感電の原因となります。



ACアダプターを指定以外の電圧では使用しない

- 表示された電源電圧交流100～240ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



ACアダプターの電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

- そのままで使用すると火災・感電の原因となります。



⚠️ 注意

ACアダプターを使うときは

- 電源プラグをぬれた手でさわらない
- プラグやコードが傷ついたまま使わない
- 市販の「電子式変圧器」は使用しない
火災・感電・故障の原因となることがあります。



ACアダプターの電源コードを熱器具に近づけない

- コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



ACアダプターの電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

- コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



旅行などで長時間ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ご使用後やご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電、発熱、発火の原因となることがあります。



ACアダプターの電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
- 刃にふれると感電の原因となることがあります。



ACアダプターの電源プラグを根元まで差し込んでみがあるときはコンセントに接続しない

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



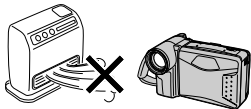
使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくために次のことは必ずお守りください。

保管場所のご注意

直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かない

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

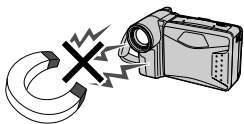


極端に高温になる場所に置かない

夏期の窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因になることがあります。本機およびビデオテープの周囲が高温状態にならないよう、十分ご注意ください。

磁気にご注意

本機に磁石・電気時計・磁石を使用したおもちゃなど、磁気をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれることがあります。



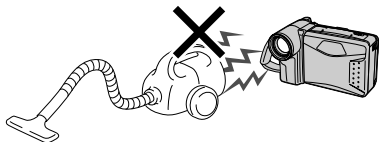
振動の激しい場所に機器を置かない

部品に悪い影響を与え、故障の原因になることがあります。

使用場所のご注意

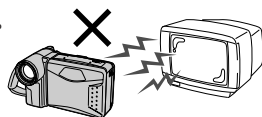
強い電波や磁気の発生するところ

強い電波や磁気の発生するところ(電波塔の近くやモーターのそばなど)で使用すると画像がゆがんだり、悪い影響を受けることがあります。



テレビの近く

- 画像や音声に悪い影響を与えることがあります。



- ACアダプターの近くでラジオなどを使用すると、雑音が入る場合がありますのでACアダプターから離してご使用ください。ACアダプターの使用中に内部で発振音がある場合がありますが、異常ではありません。

高温や低温の場所では使用しない

周囲の温度が0 ~ +40、湿度が30% ~ 80%の範囲内でお使いください。

寒冷地で使用する場合

スキー場など寒冷地でご使用のとき、本体が冷えきった状態では、電源を入れてしばらくの間は液晶モニターが多少暗くなる場合がありますが故障ではありません。このとき、しばらく時間を置くか毛布などであらかじめ本体を包んでおき、冷えきらないようにすることをおすすめします。

飛行機の中では使用しない

飛行機の中など、使用が制限または禁止されている場所では、使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。

屋外で使用する場合

明るい場所での使用

液晶モニターが見づらいたときは、「バックライトアカルイ」に切り換え、明るさの調整をしてください(80ページ)

雨天での使用

雨天・降雪中にご使用の場合は、本機をぬらさないようご注意ください。

海辺での使用

砂浜や砂地など、砂ぼこりの多いところで使用する場合は、砂が内部に入らないようにしてください。砂が入ると故障の原因となります。

使用上のご注意(つづき)

取り扱いにご注意

レンズや液晶モニターを太陽に向けない
本機を使用しているにかかわらず、レン
ズや液晶モニターを太陽に向けないでくだ
さい。



三脚について

小型の携帯用三脚は取り付けが難しいものもあり、不安定ですので絶対に使用しないでください。



持ち運ぶときは

- 持ち運びや移動の際には、同梱されているショルダーベルトをご利用されることをおすすめします。



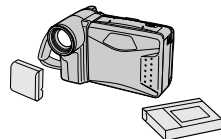
- ハンドストラップを持ってビデオカメラを持ち運ぶときは、落下や接触などに注意してください。
- 三脚に固定したまま持ち運ぶときは、三脚側を持って移動してください。

取り扱いがていねいに

落下させたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

ふだん使わないときは

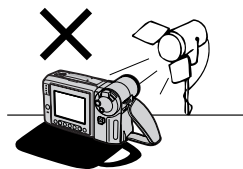
- ビデオテープを取り出し、電源スイッチを「切」にしてください。バッテリーパックも外してください。



- ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く前に、必ずビデオカメラの電源を切ってください。ご使用にならないときは、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて節電に心がけましょう。

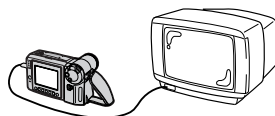
照明器具を近づけない

ビデオライトなどの照明器具を本機に近づけると、照明器具の熱で変型や故障の原因になります。照明器具は離してお使いください。



他の機器との接続について

本機に接続する機器の取扱説明書をよくご覧ください。また、取扱説明書はいつでも参照できる場所に必ず保存してください。



長時間ご使用にならないときは

長時間使用しないと機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて作動させてください。

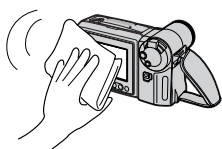
液晶モニターの取り扱いについて

- 液晶モニターを強く押ししたり、強い衝撃を与えたり、固いもので押ししたりしないでください。割れたり、表示ムラが発生したり、傷がつく場合があります。
- 液晶モニターを下にして机の上など置かないでください。
- 液晶モニターの表面および周辺を押したとき、表示ムラが発生する場合があります。
- 表示ムラが発生した場合は、電源スイッチを「切」にし約30秒ほど放置すると自然に消えます。
- 液晶モニターに指がふれると汚れますので、ふれないようご注意ください。

お手入れについて

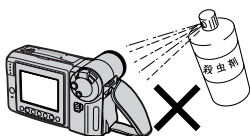
液晶モニターのお手入れ

液晶モニターについた汚れは、電源を切った上で付属のクリーニングクロスでふいてください。付属のクリーニングクロス以外でふいた場合、液晶モニターに傷がつくことがあります。また、汚れが取れにくい場合は、別売のクリーニングキットVR-CK1をご使用ください。



殺虫剤などにご注意

キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

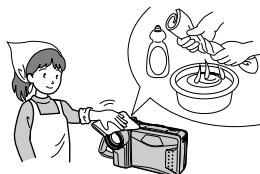


レンズのお手入れ

レンズの汚れは、カメラ用のブローヤや付属のクリーニングクロスで軽くふき取ってください。特に砂やホコリの付着した状態では強くふかないでください。傷がつく恐れがあります。

キャビネットのお手入れ

- キャビネットや操作パネルの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布を固く絞って汚れをふき取り、別の乾いた布でもう一度ふいてください。



- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、日焼け止めクリーム、化粧品が付着すると、変質したり塗装がはげることがありますのでご注意ください。



液晶パネルについて

液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

蛍光管について

液晶モニターのバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。(寿命の目安は、常温で連続使用約8,000時間です。画面が暗くなったり、点灯しないときは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

バッテリーパックについて

このバッテリーパックはニッケル水素電池です。

必ず

充電してからお使いください

- 充電は、必ず充電ランプが緑色に点灯する（満充電になる）まで行なってください。充電途中の状態でご使用の場合、使用時間が短くなります。

充電は使用直前か前日くらいに

- このバッテリーパックは、充電して保存しても自然に放電しますので、使用する直前か前日くらいに充電してください。

充電するときは、周囲の温度が

10 ~ 30 (人間が快適と感じる温度)の範囲で充電してください

- 温度が低くなるほど充電しにくくなり、バッテリーパックを消耗させます。また、高温では十分な充電ができません。
- 充電中や使用中、バッテリーパックが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電後、再び充電を繰り返すことは避けてください。

端子はいつもきれいに

- バッテリーパックの電極が汚れているときは、柔らかい布などで掃除してください。

保存するときは

使いきった状態で

バッテリーパックは使用しなくても消耗します。消耗をできるだけ防ぐためつぎの手順で保存してください。

ご使用後はバッテリーパックを、必ず本体から取り外してください。

取り付けた状態では、本体の電源スイッチを「切」にしても、微小電流が流れて過放電となり、充電特性が極端に悪くなる恐れがあります。

保存するときは、つぎのように容量を使い切った状態で保存してください。

バッテリーパックの容量を使い切るには、テープを入れずに撮影状態で電源が自動的に切れるまで使い切ってください。

使い切ったバッテリーパックを本体から取り外し、涼しい場所で保存してください。（満充電、高温条件での保存は消耗を促進します。）

少なくとも半年に一度は必ずご使用ください。消耗の防止になります。

長期間(6カ月以上)使用しなかったバッテリーパックは：

- 充電して完全に使い切る操作を何回か繰り返すと、最初は使用時間が短めですが電池の容量は回復します。
- 短い充電・放電の繰り返しは、電池の容量低下と寿命短縮の原因になります。この場合でも、一度完全に使い切ってから充電してください。

使用可能な時間について

	VR-BH1 α (付属)	VR-BH2 α (別売)
連続撮影時間	約85分	約180分
実使用时间	約35分	約80分

充電を完了したバッテリーパックを常温25で連続使用した場合です。

- 「連続撮影時間」は、十分に充電されたバッテリーパックを使って、室内で固定して連続撮影した場合の時間です。

短いシーンの撮影の繰り返しでは、テープに実際に記録される時間は、連続使用時の約半分以下になることがあります。

- 「実使用时间」は、録画、停止、電源入/切、ズームなどを*EIAJ規格に基づき繰り返し操作したときの**実撮影記録**時間の目安です。
*EIAJとは、(社)日本電子機械工業会の略称です。
- バッテリーパックは、予定撮影時間の2~3倍分用意していただくと安心です。

充電したのにバッテリーパックの使用時間が短いときは

- バッテリーパックには寿命があります。正常に充電したバッテリーパックで使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命が近づいているので、新しいバッテリーパックをお買い求めください。
- バッテリーパックは使用していなくても時間の経過で消耗します。1年程度経過したバッテリーパックは保存状態により異なりますが、使用時間が短くなります。

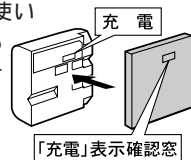
低温下で使用するときはバッテリーパックを冷やさないように

- 低温では、使用時間の合計が非常に短くなることがあります。電池は、内部で電気エネルギーを発生させるための化学反応を起こしますが、周囲の温度が低いほど化学反応が起こりにくく使用時間が短くなります。
- 特に消耗したバッテリーパックの場合、冬季の低温下（10℃以下）で冷えているときなどは、使用時間が極端に短くなる特性があります。このようなときは、バッテリーパックを冷やさないう、内ポケットなどに入れて暖めておき、使用する直前に本体に入れることをおすすめします。約10℃～30℃（人間が快適と感じる温度）の範囲内に暖めておくことをおすすめします。冷えた状態に比べ長い時間お使いいただけます。



上手な使いかた

- 断続撮影、電動ズーム、巻戻し、早送り、再生などの操作をすると、バッテリーパックの容量が消耗しますので、その分短くなります。使用しないときはこまめに電源を切ると、バッテリーパックは長持ちします。
- バッテリーパックには、充電確認マーク（「充電」の文字）が表示されています。バッテリーパック保護カバーを取り付けるとき、充電済みなら「充電」の文字が見えるようにし、使い切ったら見えないように方向を変えて取り付けると、見分けがつき便利です。



バッテリーパックのリサイクルご協力をお願い

バッテリーパックはニッケル水素電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。バッテリーパックの交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



ニッケル水素電池のリサイクルマークです。

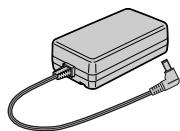
Ni-MH

ご使用済みのバッテリーパックは、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取扱いのお店へご持参ください。リサイクルのときは、次のことにご注意ください。

- 端子にテープを貼る
- 外装カバー（被覆・チューブなど）を剥がさない
- 分解しない

付属品

ACアダプター



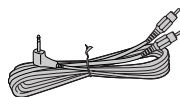
ACケーブル



バッテリーパック
(VR-BH12)



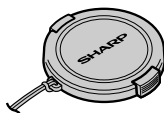
AVケーブル



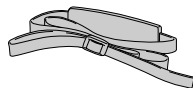
ワイヤレスリモコン



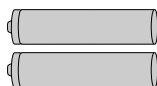
レンズキャップ



ショルダーベルト
(取り付けかた 37ページ)



ワイヤレスリモコン用
単3乾電池2個



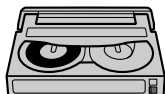
本体用ボタン電池
(CR2025)



取扱説明書
クリーニングクロス
保証書

すぐにお買い求めいただきたいもの 別売品

Hi8 (ハイエイト)
ビデオテープ



お使いになる前に知っておください

ためし撮り

- 大切な撮影(旅行や結婚式など)の場合には、かならず事前に試し撮りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。

録画内容の補償について

- 本機およびビデオテープを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

- あなたがビデオカメラで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

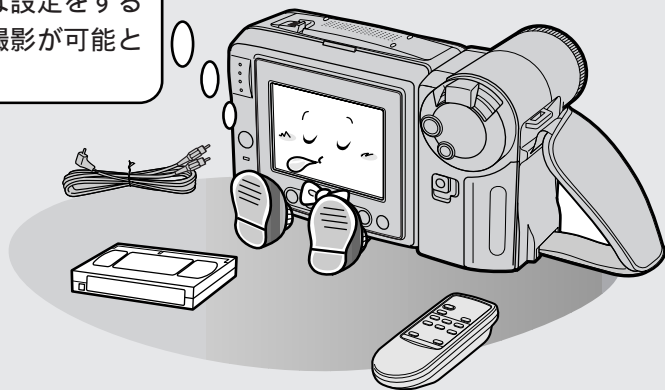
- 液晶画面の画像を説明するのにスチル写真を使っていますので、実際に見えるものとは異なります。

本書内のイラスト(画面)について

- 画面表示やイラストは、説明のために簡略化しておりますので、実際とは多少異なります。

撮影の前に

撮影する前の準備について説明
します。
日付などの基本的な設定をする
ことで、効果的な撮影が可能と
なります。



各部のなまえ	20
リモコンで操作する	22
バッテリーパックを本体に取り付ける	24
バッテリーパックを充電する	25
ご家庭のコンセントで使う	26
画面表示について	27
いろいろな機能と設定のしかた	28
ボタン電池を本体に入れる	31
日付と時刻を設定する	32
ビデオテープを入れる	34

各部のなまえ

くわしくは下記の **ページ** をご覧ください。

① 映像/音声端子

② 端子カバー

③ ショルダーベルト取付部

④ カセット入れ **押す** マーク

⑤ ズームレンズ

⑥ カセットふた

⑦ マイク

⑧ カセットふた開レバー

⑨ ボタン電池収納部

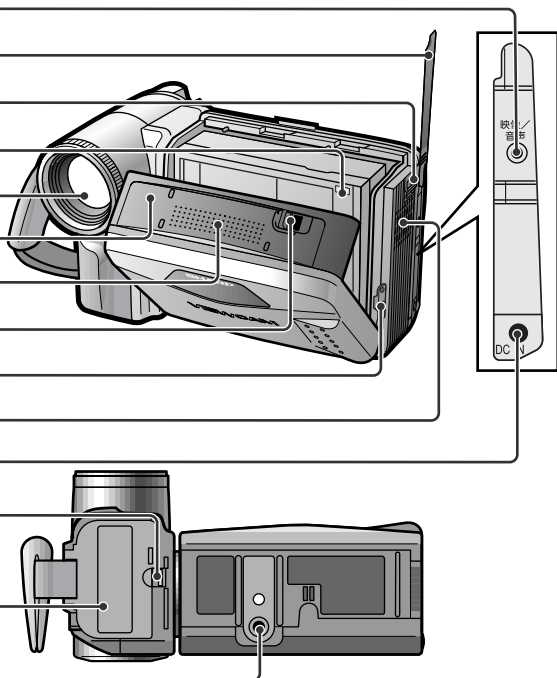
⑩ スピーカー

⑪ DC IN端子

⑫ バッテリーふた開レバー

⑬ バッテリーふた

⑭ 三脚用ネジ穴



① 映像/音声端子 **32**

外部機器と接続するときに使います。

② 端子カバー **25**

③ ショルダーベルト取付部 **37**

ショルダーベルトを取り付ける部分です。

④ カセット入れ **押す** マーク **34**

カセット入れを閉じるときにここを押します。

⑤ ズームレンズ **40**

被写体を最大16倍まで拡大することができます。(16倍を超えるとデジタルズームになります。デジタルズームを使うには、設定が必要です。)

⑥ カセットふた **34**

⑦ マイク

⑧ カセットふた開レバー **34**

テープを出し入れするときに使います。

⑨ ボタン電池収納部 **31**

ボタン電池を収納する部分です。ボタン電池は、日付などのメモリー用電源として使います。

⑩ スピーカー **49**

⑪ DC IN端子 **25**

ACアダプターを接続するときに使います。

⑫ バッテリーふた開レバー **24**

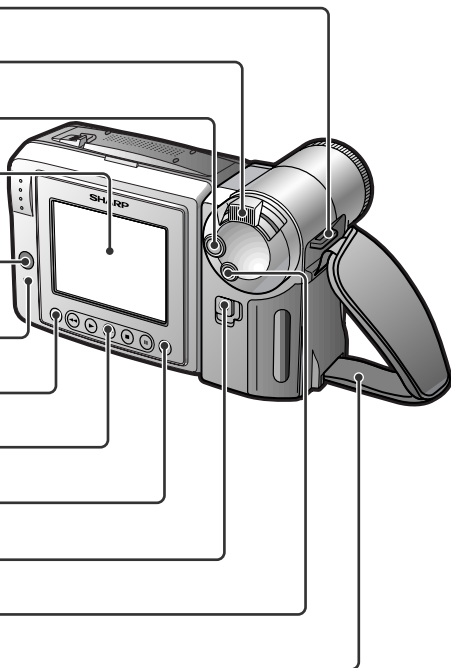
バッテリーパックを出し入れするときに使います。

⑬ バッテリーふた **24**

⑭ 三脚用ネジ穴 **44**

本機を三脚に固定するときに使います。

- ① ショルダーベルト取付部
- ② ズームレバー/音量調整レバー
- ③ 録画スタート/ストップボタン
- ④ 液晶モニター
- ⑤ リモコン受信部
- ⑥ 充電ランプ
- ⑦ メニューボタン
- ⑧ 操作ボタン
- ⑨ 表示入/切ボタン
- ⑩ 電源スイッチ
- ⑪ 子画面/スチルボタン
- ⑫ ハンドストラップ



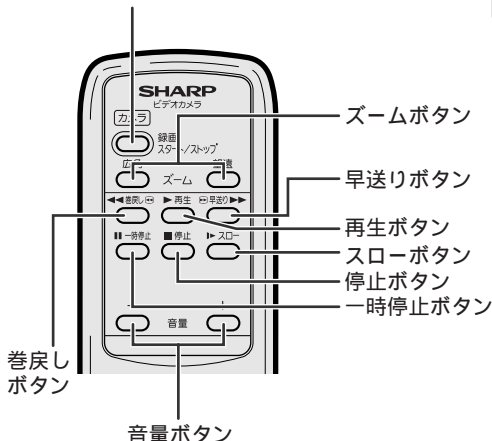
- ① ショルダーベルト取付部 **37**
- ② ズームレバー **40** / 音量調整レバー **49**
 - 撮影時は、ズーム操作に使用します。
 - 再生時は、音量を調整するときに使用します。
- ③ 録画スタート/ストップボタン **40**
撮影を始めるときや、一時停止するときに使います。
- ④ 液晶モニター **27**
- ⑤ リモコン受信部 **22**
リモコン操作するときには、ここにリモコンを向けます。
- ⑥ 充電ランプ **25**
バッテリーの充電状態を表示します。

- ⑦ メニューボタン **28**
 - 撮影時は、1/5画面から5/5画面までの5画面を順次切り換えるのに使います。
 - 再生時は、1/3画面から3/3画面までの3画面を順次切り換えるのに使います。
- ⑧ 操作ボタン **28**
液晶モニター下部に表示される機能を 、、、、 ボタンで選択・設定します。
- ⑨ 表示入/切ボタン **23**
画面表示の入/切をします。
- ⑩ 電源スイッチ **38**
 - 撮影時は「カメラ」にします。
 - 再生時は「ビデオ」にします。
- ⑪ 子画面/スチルボタン **58・60**
静止画を撮影するときや、子画面を入れた画像を撮影するときに使います。
- ⑫ ハンドストラップ **37**

リモコンで操作する

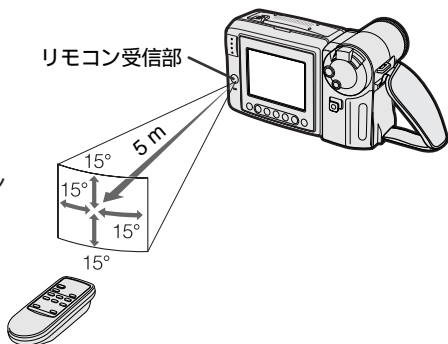
付属のリモコンを使って操作ができます。自分自身を撮影するときなどに便利です。

録画スタート/ストップボタン



リモコンの操作

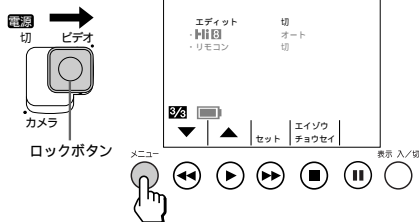
リモコンを本体のリモコン受信部に向け、操作ボタンを押す



リモコンを使えるようにする

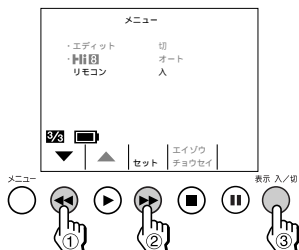
充電したバッテリーパックを本体に入れる(24ページ)か、あるいはDCケーブルを本体に接続(26ページ)してから操作してください。

1



- ① ロックボタンを押したまま電源スイッチを「ビデオ」にする
- ② **メニュー** を押してビデオモード 3/3(メニュー)画面にする

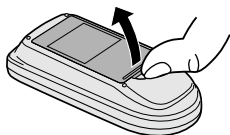
2



- ① **▼** または **▲** を押して「▶」マークを「リモコン」に合わせる
- ② **セット** を押して「入」にする
- ③ **表示入/切** を押して画面表示を消す

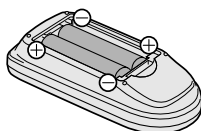
乾電池の入れかた

1



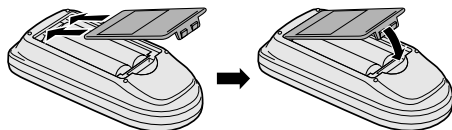
電池ふたを開ける

2



極性(±・⊖)の向きを確認し、付属の単3乾電池を入れる

3



ふたを閉める

乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破れつすることがありますので、つぎの点について特にご注意ください。



注意

- 乾電池のプラス \pm とマイナス \ominus を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なります。種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら...
液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。



お知らせ

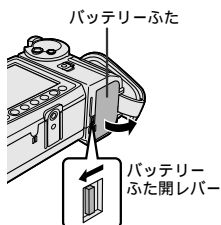
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。早めに新しい乾電池と交換してください。(寿命は通常6カ月～1年が目安です。)
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。
- リモコン受信部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないように注意してください。リモコンを正しく操作できないことがあります。
- リモコン受信部とリモコンとの間に障害物がないようにしてください。
- リモコンでは、機能の設定・変更はできません。

バッテリーパックを本体に取り付ける

- バッテリーパックは本体で充電してからお使いください。
- バッテリーパックを充電するときや、バッテリーパックを使って撮影・再生するときは、つぎの手順で本体にバッテリーパックを取り付けてください。

本体に入れる

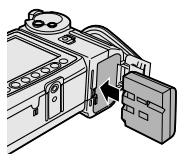
1



バッテリーふた開レバーを矢印の方向へスライドさせる

- バッテリーふたが開きます。
- バッテリーふたに無理な力を加えないでください。ふたが外れることがあります。

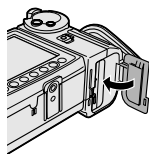
2



バッテリーパックを図のように「カチッ」と音がするまで押し込む

- バッテリーパックの挿入方向をまちがえないでください。故障の原因になります。

3



バッテリーふたを「カチッ」と音がするまで確実に閉める

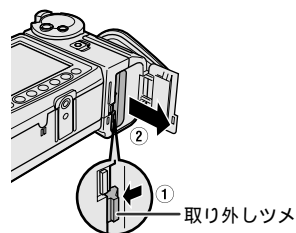
- 操作中にバッテリーパックが落下することのないよう、バッテリーふたが閉まっていることを必ず確認してください。

本体から取り出す

1

本体の電源スイッチが「切」になっていることを確認し、「本体に入れる」の手順1でバッテリーふたを開く

2



- ① 取り外しツメを矢印の方向に押す
- ② バッテリーパックを取り出す

- 下向きで取り出すと、バッテリーパックが落下することがあります。
- バッテリーパックの落下を防止するため、途中で引っかかるようにしています。強めに引き抜いてください。

お知らせ

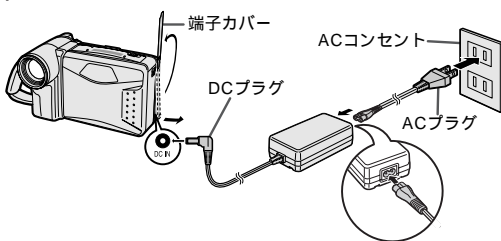
- バッテリーパックを出し入れするときは、誤動作を防ぐため、電源スイッチが「切」になっていることを確認してください。録画・再生中にバッテリーパックを外すと、テープがヘッドに巻きついたままとなり、テープを傷めることがあります。
- ご使用前に「安全にお使いいただくために」(10ページ)と「バッテリーパックについて」(16ページ)も必ずお読みください。

バッテリーパックを充電する

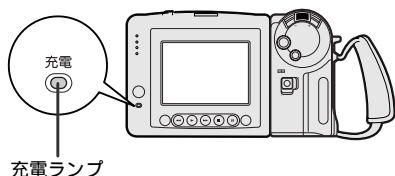
バッテリーパックは、充電してからお使いください。充電するときは、本体にバッテリーパックを取り付け、ACアダプターを接続します。バッテリーパックの取り付けかたは24ページをご覧ください。

充電のしかた

- 1 電源スイッチを「切」にする
 - 電源スイッチが「カメラ」または「ビデオ」になっているときは充電できません。
- 2 端子カバーを開き、DC IN端子にDCプラグを接続する
- 3 ACケーブルをACアダプターにつなぎ、ACプラグをコンセントに差し込む
 - 充電ランプが赤く点灯します。



充電が完了したら



充電ランプが緑色の点灯に変わったら充電完了です。DC IN端子からDCプラグを外し、さらにコンセントからACケーブルのACプラグを外します。

撮影の前に

バッテリーパックを充電する
本体に取り付ける

充電時間と連続撮影時間について

	VR-BH12(付属)	VR-BH22(別売)
充電時間	約120分	約240分
連続撮影時間	約85分	約180分
実使用时间	約35分	約80分

周囲の温度やバッテリーパックの状態によって、充電時間が変わることがあります。ご使用前に充電ランプが緑色に点灯しているか確認してください。

お知らせ

- 充電時間は、使い切ったバッテリーパックを常温25度で充電するのに必要な時間です。周囲の温度やバッテリーの状態によって充電時間が変わることがあります。
- 撮影・停止の頻度や寒冷地などでの使用では撮影時間は短くなります。
- 連続撮影時間・実使用时间についてくわしくは「バッテリーパックについて」16ページをご覧ください。

ご家庭のコンセントで使う

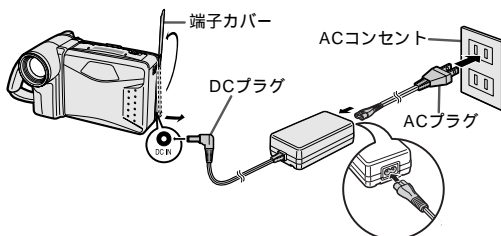
同梱のACアダプターを使えば、ご家庭のコンセントからの電源でビデオカメラを使うことができます。

ご家庭のコンセントにつなぐには

1 本体の電源スイッチを「切」にする

2 端子カバーを開き、DC IN端子にDCプラグを接続する

3 ACケーブルをACアダプターにつなぎ、ACプラグをコンセントに差し込む



4 本体の電源スイッチを「カメラ」か「ビデオ」にする



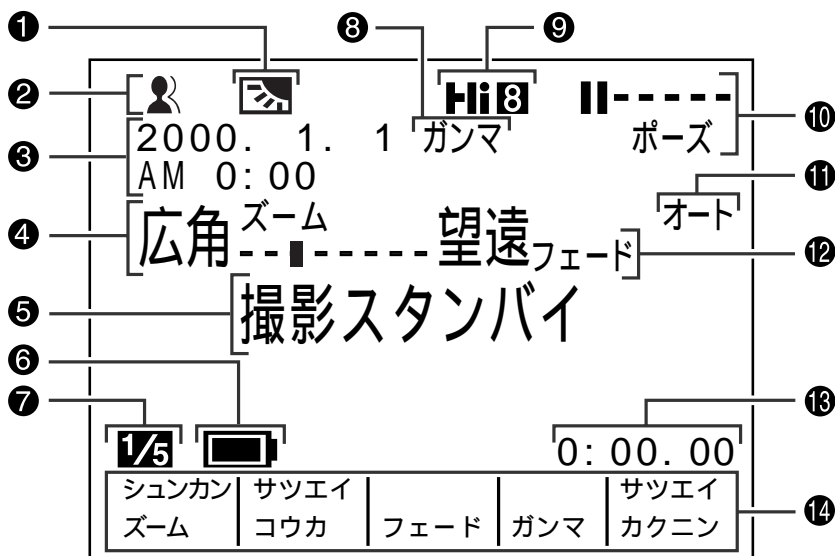
お知らせ

- テープの走行中にDCプラグや電源プラグを外さないでください。テープがヘッドに巻きついたままとなり、テープを傷めることがあります。
- DCプラグを本体につないだ状態で強い力を加えないでください。故障の原因になります。
- 長時間使用しないときは、DCプラグを抜いてください。
- DCプラグを抜くときは絶対にコードを引っ張らないでください。DCプラグを持って抜いてください。
- DCプラグを抜いた後は、端子カバーを付けてください。

画面表示について

画面表示(カメラモード時の表示例)

くわしくは下記のページをご覧ください。



- ① 逆光補正マーク **43**
 - 「ガンマ」プラス「逆光補正」にすると表示されます。
 - 光量不足になると「ライト」表示が出ます。
- ② ブレ補正マーク **42**
 - ブレ補正マークにすると表示されます。
- ③ 日付・時刻表示 **39**
 - メニュー画面の「日付キロク」設定で選択します。
- ④ ズーム位置表示 **40**
 - ズームレバーを操作すると表示されます。
- ⑤ 機能動作のメッセージ表示
- ⑥ バッテリー残量表示 **54**
- ⑦ 画面のページ表示 **28**
 - カメラモードでは1/5～5/5画面があります。
 - ビデオモードでは1/3～3/3画面があります。
- ⑧ ガンマ表示 **43**
 - ガンマが「入」のときに表示されます。

- ⑨ Hi8マーク **89**
 - メニュー2の「Hi8」を「オート」に設定しているときHi8テープを使うと表示されます。
- ⑩ 録画状態表示 **40**

-----	撮影待機状態です。
●>>>>	録画中です。
- ⑪ オート状態表示 **75**
 - 画面表示が「切」のとき、フルオート状態であることを示します。
- ⑫ フェード表示 **57**
 - フェード機能を使うときに表示されます。
- ⑬ カウンター表示 **76**
 - カウンターを「入」にすると表示されます。
- ⑭ 操作表示

お知らせ

- テープに記録されるのは日付・時刻表示だけです。

いろいろな機能と設定のしかた

本機のいろいろな機能の選択・設定は、液晶モニターを見ながら行います。選択・設定は **メニュー**、**操作ボタン**、**表示入/切** を使います。一度選択・設定のしかたを覚えると、本機のほとんどの機能が操作できます。

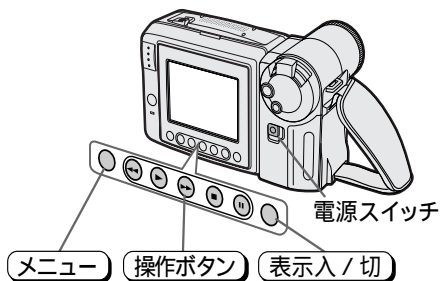
機能の選択・設定画面には、次の2種類があります。

本書では「モード画面」、「メニュー画面」として記載しています。

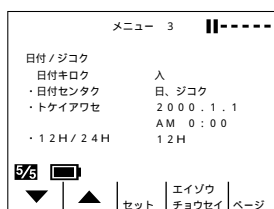
モード画面



- カメラモード(電源スイッチが「カメラ」)では1/5～4/5画面を指します。
- ビデオモード(電源スイッチが「ビデオ」)では1/3～2/3画面を指します。



メニュー画面



- カメラモードでは5/5画面を指します。
- ビデオモードでは3/3画面を指します。

モード画面とメニュー画面の表示のしかた

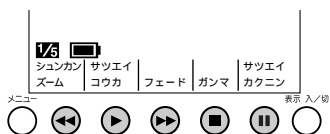
メニュー



メニュー を押す

- 押すごとに画面表示が切り換わり、操作ボタンの機能が画面に対応した機能に変わります。

機能の選択と設定



操作ボタン で設定する

- モニター下部に表示される機能を **◀◀**、**▶▶**、**■**、**⏸** ボタンで選択・設定します。

モード画面、メニュー画面表示の入/切

表示入/切

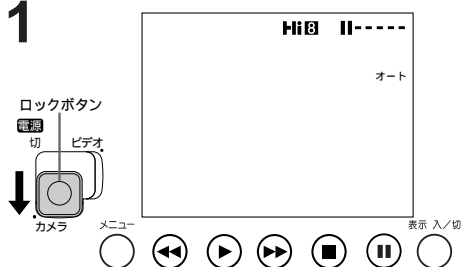


表示入/切 を押す

モード画面の使いかた

(例) カメラモードでフェード機能を使うとき

1



ロックボタンを押したまま電源スイッチを「カメラ」にする

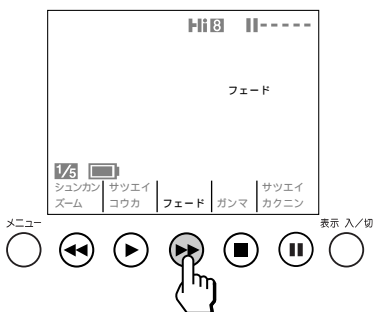
2



メニューを押してカメラモード1/5画面を出す

- 押すごとに「1/5 2/5 3/5 4/5 5/5」と切り換わります。

3



フェードを押す

- 「フェード」が表示されます。

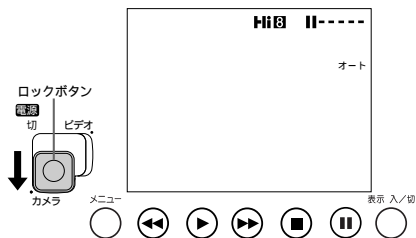
解除するときは、もう一度**フェード**を押す

いろいろな機能と設定のしかた(つづき)

メニュー画面の使いかた

(例) デジタルズームの倍率を64倍に設定するとき

1



ロックボタンを押したまま電源スイッチを「カメラ」にする

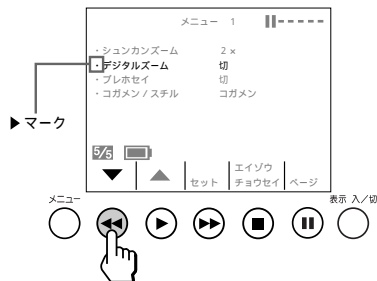
2



① **メニュー** を繰り返し押し続けてカメラモード5/5画面(メニュー画面)を表示させる

② **ページ** を押して「メニュー1」画面を表示させる

3



▼ を押して「デジタルズーム」を選ぶ
● 画面の「▶」マークは、**▼** または **▲** で上下に移動します。この時、選択されている項目は、色が変わります。

4



① **セット** を押して「64x」にする

● **セット** を押すたびに、設定が切り換わります。

② **表示入/切** を押してメニュー画面を消す

お知らせ

- 撮影中は、メニュー表示を出すことはできません。
- メニュー画面は、約5分間操作しないと自動的に消えます。

ボタン電池を本体に入れる

ボタン電池は、日付・時刻などのメモリー用電源として使います。

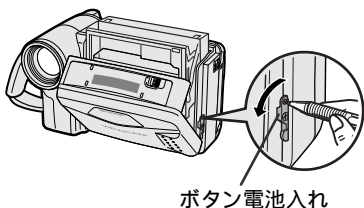
1



カセットふた開レバーを矢印の方向にスライドさせ、ふたを開く

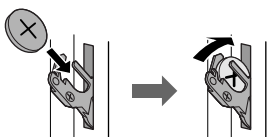
- カセット入れが自動的にせり上がり開きます。

2



図のようにボールペンなどの先の細いものを使って、ボタン電池入れを引き出す

3

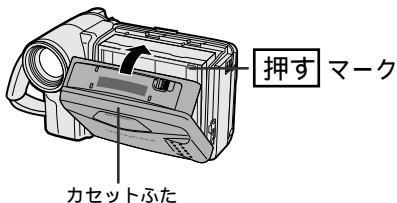


① ボタン電池を入れる

- ボタン電池の± 極と⊖極を正しく入れてください。

② ボタン電池入れを「カチッ」と音がする位置まで戻す

4



① **押す** マークを押してカセット入れを閉める

- 「カチッ」と音がするまで押すと、カセット入れが自動的に下がります。

② 「カチッ」と音がするまでカセットふたの中央を押して閉める

- カセット入れが完全に下がってから、ふたを閉めてください。

お知らせ

- ボタン電池を入れ終わったら、早めに日付と時刻の設定をすることをおすすめします（32ページ）。そのままにしておくと、ボタン電池の消耗が早くなります。
- ボタン電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐに取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。

電池の交換の時期は

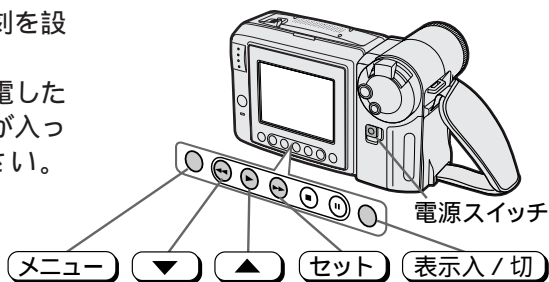
- 通常の使用で約1年間お使いいただけます。
- 日常設定されている時刻が極端に遅れてきた場合には新しいボタン電池CR2025と交換してください。
- 交換したボタン電池を廃棄する場合は、電気店などのボタン電池回収箱へ入れてください。

日付と時刻を設定する

お使いになる前に必ず日付と時刻を設定してください。

日付と時刻を設定する前に、充電したバッテリーパックとボタン電池が入っていることを確認してください。

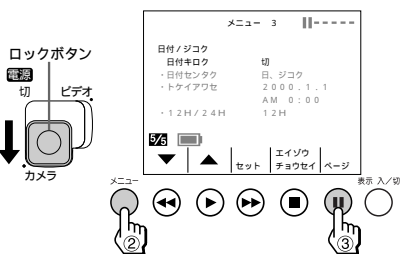
(24、31ページ)



日付と時刻を合わせる

(例) 2000年12月31日午後8時45分に合わせる場合

1



- ① ロックボタンを押したまま電源スイッチを「カメラ」にする
- ② **メニュー** を押して5 / 5 画面(メニュー画面)を表示させる
- ③ **ページ** を押して「メニュー3」画面にする

● 時計合わせが済んでいないときは、**ページ** を押さなくても「メニュー3」画面が表示されます。

2



- ① **▼** または **▲** を押して「▶」マークを「日付/ジコク」と「トケイアワセ」に合わせる
- 時計合わせが済んでいないときは、自動的に「▶」マークは「日付/ジコク」と「トケイアワセ」に移動します。

- ② **セット** を押す
- 「2000(年)」が点滅します。

3



- ① **▲** または **▼** を押して「年」を合わせる
- 年の数字は次のように切り換わります。
2000年 ←……→ 2029年
- ② **セット** を押して「年」を設定する
- 「1(月)」が点滅します。

4

▶トケイ アワセ 2000-12-1
AM 0:00

- ① **▲** または **▼** を押して「月」を合わせる
- ② **セット** を押す
 - 「1(日)」が点滅します。

5

▶トケイ アワセ 2000. 12. 31
PM 8: 45

手順4と同様に「日」、「時」、「分」を合わせる

- 「分」を合わせたあと、**セット** を押した時点から時計が動きはじめます。
- 途中で間違えたときは、**セット** を繰り返し押し、修正したい所を点滅させて設定し直してください。

6

表示入/切 を押してメニュー画面を消す

- これで日付・時刻設定は終了です。

24時間制の表示にすることができます



- ① 手順5のあと、**▼** または **▲** を押して、「▶」マークを「日付/ジコク」と「12H/24H」に合わせる
- ② **セット** を押して「24H」にする

お知らせ

- 一度設定すると、その日付・時刻は記憶されます。

ビデオテープを入れる

本体を傾けてビデオテープの出し入れをしないでください。テープを傷めることがあります。

1



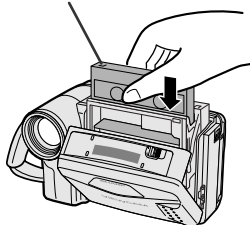
カセットふた開レバーを矢印の方向にスライドさせ、ふたを開く

- カセット入れが自動的にせり上がり開きます。

ビデオテープの取り出しはこのとき行います。

2

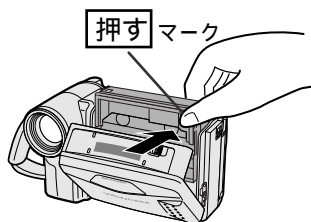
誤消去防止ツマミ



ビデオテープの窓を手前にし、誤消去防止ツマミを上にして矢印の方向に入れる

- ビデオテープの背にある誤消去防止ツマミが開いていることを確認してください。
- 「大切な録画済テープを誤って消さないために」(90ページ)を合わせてご覧ください。

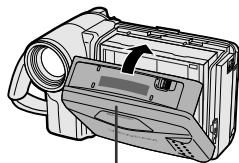
3



押す マークを押してカセット入れを閉める

- 「カチッ」と音がするまで押すと、カセット入れが自動的に下がります。
- このとき電源スイッチの切り換えはしないでください。

4



カセットふた

「カチッ」と音がするまでカセットふたの中央を押して閉める

- カセット入れが完全に下がってから、ふたを閉めてください。

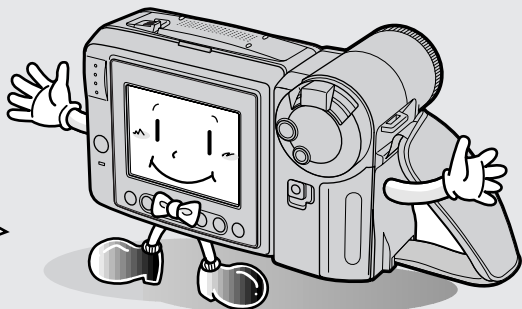


お知らせ

- カセットふたが軽い力で閉まらない場合は、カセットふた開レバーをスライドさせ、ふたの中央を押して閉め直してください。
- カセット入れが出てくる途中で、カセットふたを閉めないでください。
- カセット入れに無理な力を加えないでください。
- 長時間ご使用にならないときは、必ずビデオテープを取り出して保管してください。
- ビデオテープを入れたとき、タイミングによりテープ保護機能が働き、テープが途中で出てくる場合があります。このようなときはもう一度入れ直してください。

撮影と再生

基本的な撮影と再生の操作を説明します。
ビデオカメラの撮影は初めてという方にも簡単にお使いいただけます。



カメラの持ちかた・かまえかた	36
レンズキャップの取り付けかた	36
ハンドストラップを調整する	37
レンズフードを外す	37
ショルダーベルトを取り付ける	37
撮影の準備	38
撮影日時をテープに記録するとき	39
撮影する	40
デジタルズームを使う	41
手ブレを少なくする(ブレ補正)	42
逆光の中や暗いところで撮影する(ガンマ撮影)	43
近くのを撮る(接写)	44
正しく撮影されているか確認する(サツエイカクニン)	45
撮影した映像をその場で確認する(録画サーチ)	46
前回の撮影終了場面につなげて撮影する(撮影スタンバイ)	47
再生する	48
音量を調整する	49
いろいろな再生機能を使う	50
テレビにつないで見る	52
モニター画面を消すことができます(画面消灯機能)	53
バッテリーとテープの残量表示について	54

カメラの持ちかた・かまえかた

見やすい映像を撮るには、カメラを動かしすぎないようにします。
ふらつかないように、安定した姿勢で撮影します。



高い位置で撮る姿勢（ハイアングル）



人垣の上からモニターを見ながら撮ることができます。

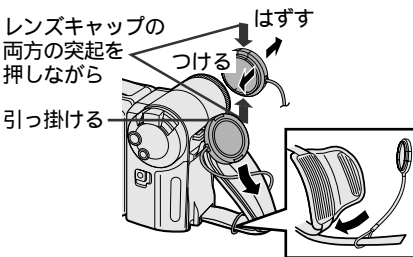
低い位置で撮る姿勢（ローアングル）



片ひざをつけて下半身を安定させます。

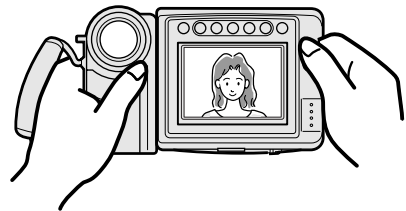
レンズキャップの取り付けかた

レンズキャップは図のように本機に取り付け（取り外し）ます。



対面撮影をするとき

手に持って自分自身を撮影したりするときなどに便利です。（68ページ）



液晶モニターのお手入れについて

液晶モニターについた汚れなどは、電源を切った上で付属のクリーニングクロスでふいてください。付属のクリーニングクロス以外でふいた場合、液晶モニターに傷がつくことがあります。また、汚れがなかなかとれない場合は、別売のクリーニングキットVR-CK1をご使用ください。

ハンドストラップを調整する

手の大きさに合わせて、ハンドストラップを調整します。

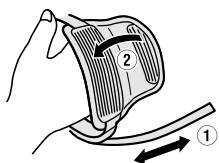
1 パッドを開く



2 ① 長さを調整し、マジックテープを止める

- レバーやボタンが操作しやすいように調整する。

② パッドを戻す

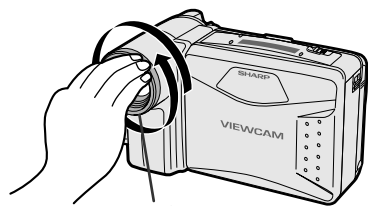


お知らせ

- ハンドストラップを持ってビデオカメラを持ち運ぶときは、落下や接触などに注意してください。

レンズフードを外す

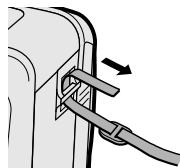
レンズフードは左に回すと外せます。レンズを清掃するときに便利です。



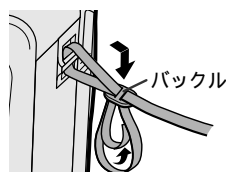
レンズフード

ショルダーベルトを取り付ける

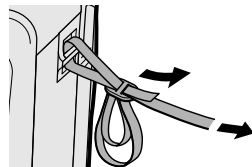
1 ベルトの先端を持って、ベルト取付部にベルトを通す



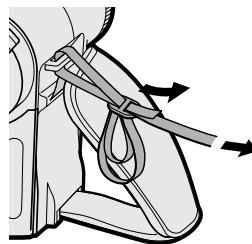
2 ベルトをたるませ、ベルト先端をバックルに通す



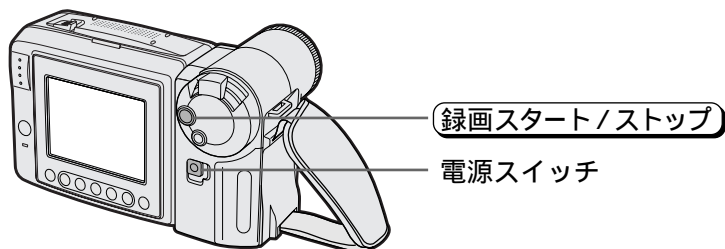
3 バックルにベルトを通して引き絞り、固定する



4 反対側のベルト取付部にも同じように取り付ける



撮影の準備



電源スイッチの使い方

撮影するとき

ロックボタンを押したまま電源スイッチを「カメラ」にする

- これをカメラモードといいます。



- 再生するときは、ロックボタンを押したまま電源スイッチを「ビデオ」にします。
(これをビデオモードといいます。)

撮影を終わるとき

ロックボタンを押さずに電源スイッチを「切」にする



準備

1 充電したバッテリーパックを本体に入れるか、あるいはDCケーブルを本体につなぐ

- バッテリーパックを入れるには24ページ、DCケーブルをつなぐには26ページをご覧ください。

2 ビデオテープを入れる(34ページ)

お知らせ

撮影待機状態が5分以上続くと自動的に電源が切れます。

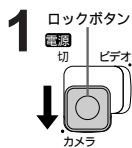
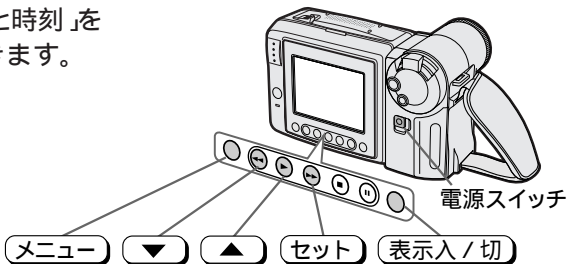
- バッテリーを節電し、テープを保護するためです。
- 撮影を続けるときは、電源スイッチを一度「切」にし、再び「カメラ」の位置にします。

ヒント

- テープの最初から撮影するときは、15秒ほど撮影してから本番の撮影をすることをおすすめします。再生時に始めが欠けるのを防げます。

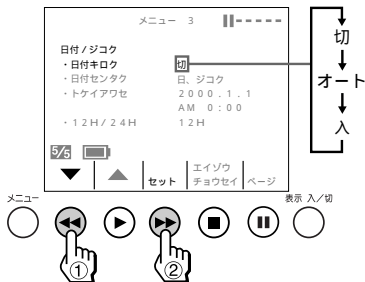
撮影日時をテープに記録するとき

撮影時に「日付」または「日付と時刻」をテープに記録することができます。



- ① ロックボタンを押したまま電源スイッチを「カメラ」にする
- ② **メニュー**を押して5/5画面にする
- ③ **ページ**を押して「メニュー3」画面にする

2



- ① **▼** または **▲** を押して「▶」マークを「日付/ジコク」と「日付キロク」に合わせる
- ② **セット**を押して「オート」または「入」にする

切	日付・時刻を表示・記録しません。
オート	撮影する日の最初の撮影時刻から約10秒間のみ「日付と時刻」または「日付」を記録した後、自動的に表示が消えます。（自動日付記録）
入	常時「日付と時刻」または「日付」を記録します。

3



- 手順2と同様に「▶」マークを「日付センタク」に合わせ、「日、ジコク」または「日」を選ぶ
- 「日、ジコク」にすると日付と時刻が、「日」にすると日付が記録できます。

4

表示入/切を押してメニュー画面を消す

- この状態で撮影を開始すると日付記録ができます。

お知らせ

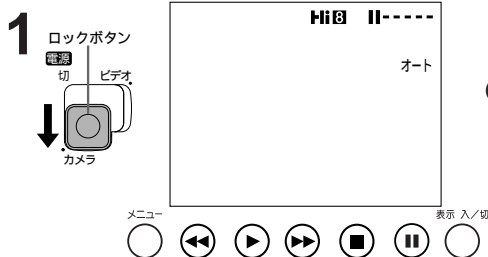
- 「オート」を選んだとき、撮影中に日付が変わっても、日付の変わり目に再度日付は記録されません。日付を記録したいときは、再度「オート」を選び直してください。

撮影と再生

撮影の日時をテープに記録するときの準備

撮影する

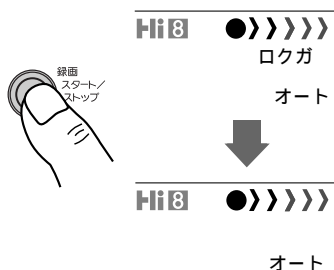
撮影する



ロックボタンを押したまま電源スイッチを「カメラ」にする
(これをカメラモードといいます。)

- この段階は撮影待機状態です。
- まだ録画は始まっていません。
- 「オート」表示は、フルオート状態になっていることを示しています。

2



録画スタート/ストップを押す

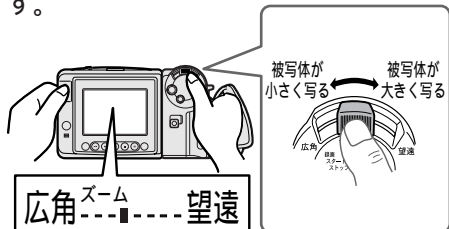
- 撮影が始まります。
- 「ロクガ」または「ポーズ」の文字は約2秒間のみ表示されます。表示はテープには記録されません。

撮影を止めるときはもう一度
録画スタート/ストップを押す

- 次の撮影までに間があるときはこまめに電源を切りましょう。

ズームを使う

ズームとは、ビデオカメラを動かさずに被写体を近づけたり(ズームイン)、遠ざけたり(ズームアウト)する機能です。



少し動かすとゆっくりズームし、大きく動かすと速くズームします。

お知らせ

- 被写体が近く(約1.5m以内)にあるとき望遠にすると、ピントが合いにくくなります。(このとき、ピントが合うところまで自動的に広角になります。)

デジタルズームを使う

本機のズームは被写体を16倍まで近づけられる光学式ズームと、最大400倍まで近づけられるデジタルズームがあります。

光学式ズームとデジタルズームについて

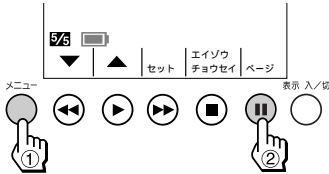


(「64x(倍)」に設定したときのイメージです。)

光学式ズームとは、レンズの力で被写体に近づく機能です。これに対しデジタルズームは、レンズがとらえた被写体を本機の内部でデジタル処理を行い、拡大する機能です。このようにデジタル処理で拡大される範囲を「デジタルズーム領域」といいます。

デジタルズームを使うとき(設定はメニュー画面で行います)

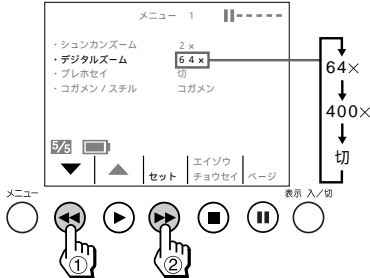
1



① **メニュー** を押してカメラモード5/5画面にする

② **ページ** を押して「メニュー1」画面にする

2



① **▼** または **▲** を押して「▶」マークを「デジタルズーム」に合わせる

② **セット** を押して「64x(倍)」または「400x(倍)」にする

3

表示入/切 を押してメニュー画面を消す



お知らせ

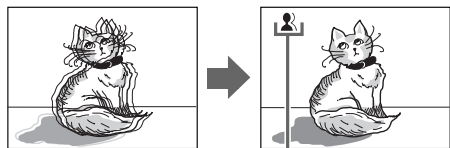
- デジタルズームのときは、画質が落ちます。(最大ズームアップの時、水平解像度が光学式ズーム最大時の約96%劣化します。)
- デジタルズームを使う必要がないときは、「デジタルズーム」を「切」にしてください。気付かないうちにデジタルズームになるのを防げます。



ヒント

デジタルズーム領域になるとカメラモード1/5画面を表示しておけば、「シュンカンズーム」の表示の色が変わり、ズームがデジタルズーム領域にあることがわかります。

手ブレを少なくする(ブレ補正)

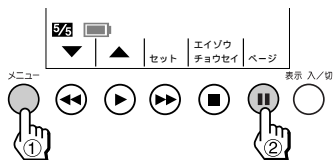


ブレ補正マーク

アップでの撮影時に生じやすい手ブレを電子的に補正します。

ブレ補正をする

1



① **メニュー**を押してカメラモード5/5画面にする

② **ページ**を押して「メニュー1」画面にする

2



① **▼** または **▲** を押して「▶」マークを「ブレホセイ」に合わせる

② **セット**を押して「入」にする

- 「**A**」マークが表示され、ブレ補正が働きます。
- ブレ補正を解除するときは、再度**セット**を押します。「**A**」マークが消え、ブレ補正が解除されます。



お知らせ

- ブレ補正を使うと、液晶モニターの画像が少し拡大されます。また、シャッター速度が標準速度(1/60秒)から1/100秒に自動的に切り換わります。
- ブレ補正では、画質が多少劣化します。
- 蛍光灯の下でブレ補正をすると、画像の明るさが変化することがあります。
- ブレ補正を使うと、バッテリーが早く消耗します。三脚を使うときは、ブレ補正を使わないことをおすすめします。
- 瞬間ズームの使用中は、ブレ補正はあまり効果がありません。



ヒント

手ブレが大きい場合や、次のような被写体では、補正できないことがあります。

- 明暗差(コントラスト)の小さい被写体
- 背景が均一な被写体
- 被写体が暗いとき
- 動く被写体が多いとき
- 縦じまや横じまの被写体

逆光の中や暗いところで撮影する (ガンマ撮影)

ガンマ補正機能

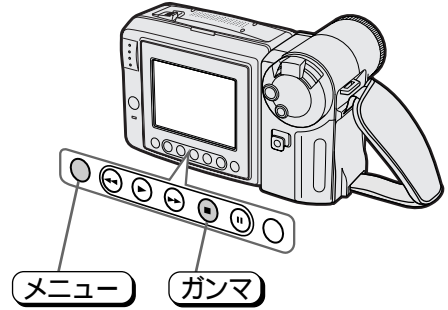
画面全体の雰囲気を変えずに、暗い部分を明るく補正します。

ガンマ + 逆光補正機能

「ガンマ」だけでは暗く感じるときに、この設定にします。

感度アップ機能

照明の暗いところで撮影するとき、被写体が明るく映るようにします。



こんなときに

- 被写体の後方が明るすぎて被写体が黒く写るとき
- 照明の暗い室内など、光量が少ない場所で撮影するとき

逆光補正や感度アップをする (ガンマ撮影)

1 「メニュー」を押してカメラモード1/5画面にする

- 画面左上に「ライト」が表示されているときは、光量が不足しています。このときは明るいところに移動するか、感度アップ機能を使ってください。

2



「ガンマ」を押す

- 押すたびにつぎのように切り換わります。
「ガンマ」→「ガンマ」+「 逆光補正」
切
- 「ガンマ」にしたときは「ガンマ」が表示され、画面全体の雰囲気を変えずに暗い部分が補正されます。
- 「ガンマ」だけでは暗く感じるときは「ガンマ」+「 逆光補正」にします。明るい空や反射光などを撮影したときは、白トビする場合があります。

お知らせ

感度アップ機能について

- 感度アップ機能は「ライト」が表示されているときのみ使えます。
- 手順2で、2度目に「ガンマ」を押したとき、「」マークが表示され、光量が少ないところでも撮影できるようになります。
- 感度アップの状態でも光量不足が解消されると「」マークは消えます。再び暗いところにレンズを向けると「ライト」が表示されますが、感度アップ状態には戻りません。もう一度設定してください。
- 感度アップのときは、画面がザラザラした感じになることがあります。

撮影と再生

逆光の中や暗いところで撮影する(ブレ補正)

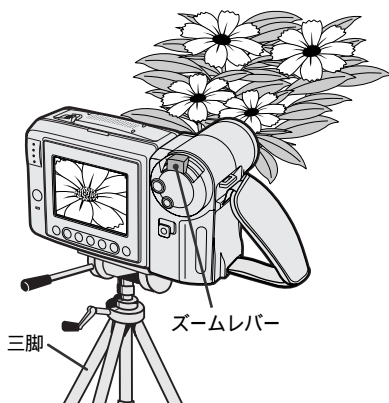
近くのものを撮る（接写）

小さな植物や昆虫を画面いっぱい撮ったり、タイトルを写し込むときには接写します。

接写のしかた

1 カメラモードをしっかりとした三脚に固定する

- 画像がブレますので、手持ちでの接写は行わないようにしてください。また、小型の三脚は、カメラが安定しませんので、使用しないでください。



2 ズームレバーを「広角」側にいっぱい押し、最広角にする

3 レンズを被写体に近づけ、**録画スタート/ストップ**を押す

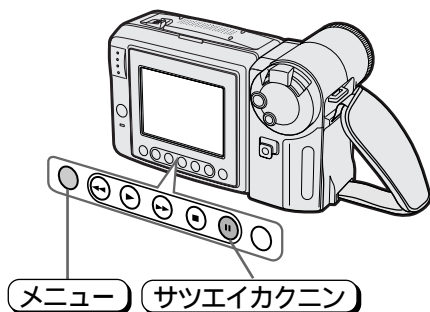
お知らせ

接写について

- 手ブレが起きやすいので三脚の使用をおすすめします。
- レンズ前1.5cmまで近付くことができます。

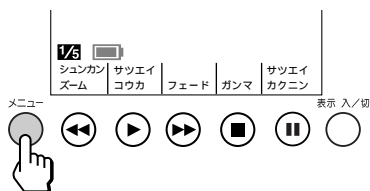
正しく撮影されているか確認する(サツエイカクニン)

撮影を終えた後、カメラモードのまま
で、撮影終了前の約5秒間の内容を確
認できます。(「ビデオ」に切り換える
必要はありません。)



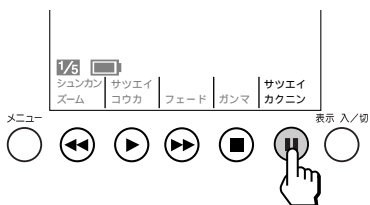
サツエイカクニンの使いかた

1



撮影待機状態で、**メニュー**を押して
カメラモード1/5画面にする

2



サツエイカクニンを押す

- テープが約5秒間分巻き戻され、自動的に再生が開始されます。
- 約5秒間の再生が終了すると、自動的に撮影待機状態に戻ります。

撮影と再生

正しく撮影されているか確認する(サツエイカクニン)
近くのもの撮る(接写)

撮影した映像をその場で確認する (録画サーチ)

撮影を終えた後、カメラモードのまま
で、撮影内容の確認ができます。
(「ビデオ」に切り換える必要はありません。)

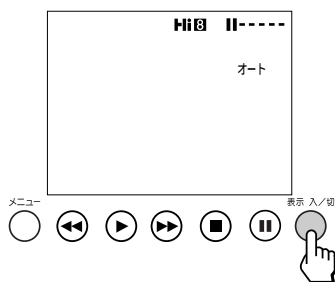
こんな
ときに

撮影をやり直すところを
探したいときや失敗シー
ンをカットするとき



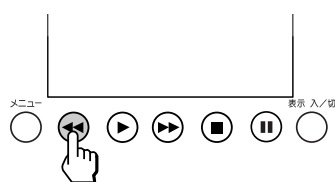
録画サーチの使いかた

1



表示入/切 を押して表示を消す

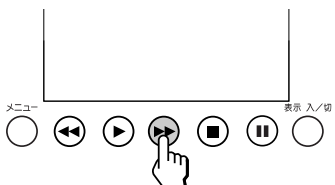
2



◀ (録画サーチ逆) を1秒以上押し
続け、見たいシーンを探す

- 押している間だけ逆方向に3倍速で再生
します。
- ボタンから指を離すと撮影待機状態に
戻ります。

3



▶ (録画サーチ順) を1秒以上押し
続け、映像の確認をする

- 押している間だけ通常再生します。
- ボタンから指を離すと撮影待機状態に
なります。
- ボタンから手を離れた時点が、次の撮影
の開始点になります。



お知らせ

- 逆方向の録画サーチ中に映像が乱れることがあります。
- 録画サーチ中に音声は出ません。

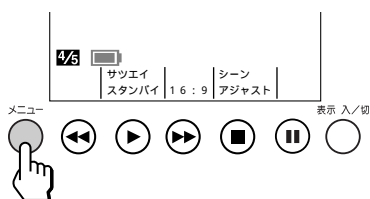
前回の撮影終了場面につなげて撮影する (撮影スタンバイ)

撮影を始めるとき、前回の撮影終了場面(次にスタートしたい位置)がワンタッチで手軽に頭出しできます。



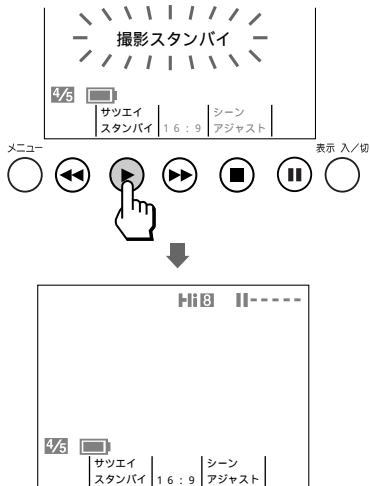
撮影スタンバイの使いかた

1



メニュー を押してカメラモード4/5画面にする

2



サツエイスタンバイ を押す

- 頭出しが開始されます。
- 解除するときは、もう一度 **サツエイスタンバイ** を押します。

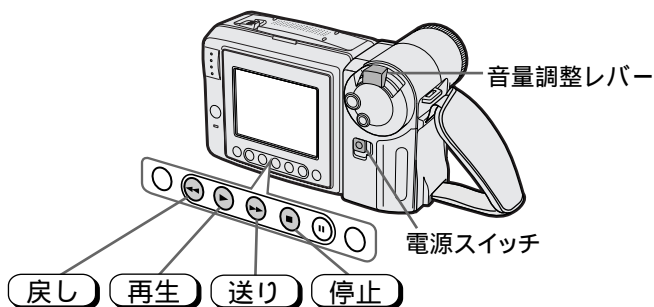
- 頭出しが完了すると自動的に撮影待機状態になります。

お知らせ

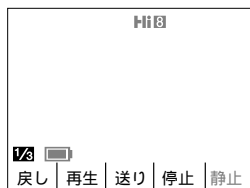
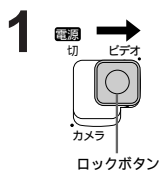
- 一度テープを取り出したり、電源(バッテリーパック等)を取り外してしまうと撮影スタンバイは働きません。
- 録画されていないテープのときは、撮影スタンバイは働きません。(「サツエイスタンバイ」は表示されません。)

再生する

液晶モニターを使って、撮ったその場ですぐ見られます。—— 即時再生



撮影した映像を再生する

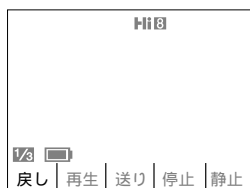


ロックボタンを押したまま電源スイッチを「ビデオ」にする

(これをビデオモードといいます。)

- ビデオモード1 / 3画面が表示されません。

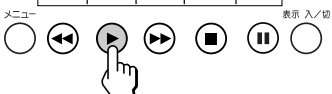
2



戻しを押してテープを巻き戻す

- テープを早送りするときは**送り**を押します。

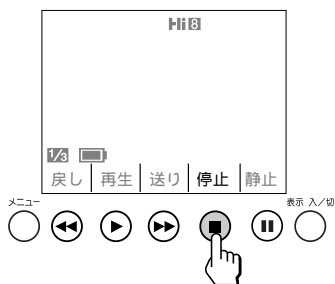
3



再生を押す

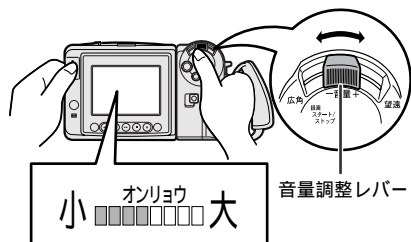
- 再生が始まります。

再生を止める



停止 を押す

音量を調整する



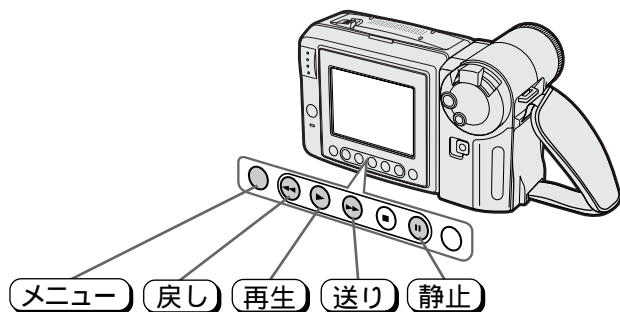
再生中に音量調整レバーを動かし、お好みの音量に調整する

- 音量調整表示が出ます。音量の調整が終わると、音量調整表示は自動的に消えます。

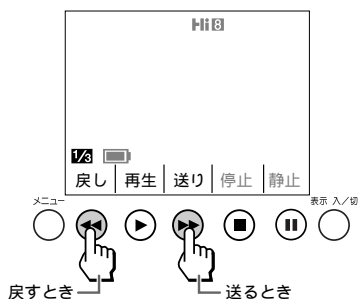
💡 ヒント

- テープを最後まで再生すると、自動的に巻き戻されます。—— オートリwind
- リモコンでも操作できます。
ビデオモード3/3(メニュー)画面の「リモコン」が「入」になっていることを確認してください。

いろいろな再生機能を使う



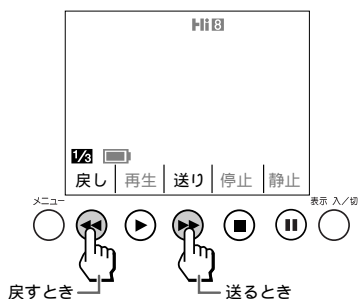
再生中に見たい場面をすばやく探す(ビデオサーチ)



ビデオモード1/3画面にして、再生中に**送り**または**戻し**を押す

- **再生**を押すと再生に戻ります。

早送り/巻戻し中に画面を確認する(FRサーチ)



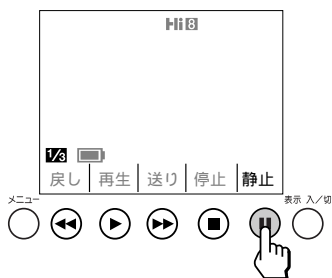
ビデオモード1/3画面にして、早送り中に**送り**、または巻戻し中に**戻し**を押し続ける

- 押している間は、ビデオサーチ画面になります。
- ボタンから指をはなすと、早送りまたは巻戻し状態に戻ります。

お知らせ

- テレビに接続して見る場合、ビデオサーチをすると、ノイズが出たり、映像が乱れます。(本機の液晶モニターで見るときは、ノイズを少なく見やすくしてあります。)
- ビデオサーチやFRサーチをしているときは、音が出ません。

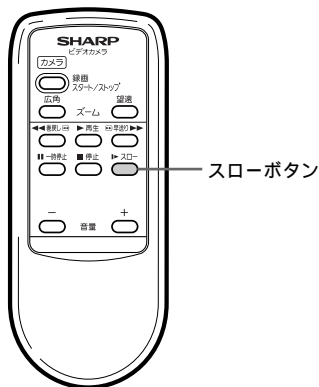
画面を止めて見る(静止画再生)



ビデオモード1/3画面にして、再生中に「静止」を押す

- 「静止」または「再生」を押すと通常の再生に戻ります。
- リモコンの「一時停止」でも操作できます。

再生画像をスローモーションで見る(スロー再生)



再生中にリモコンの「スロー」を押す

- 「再生」を押すと通常の再生に戻ります。

お知らせ

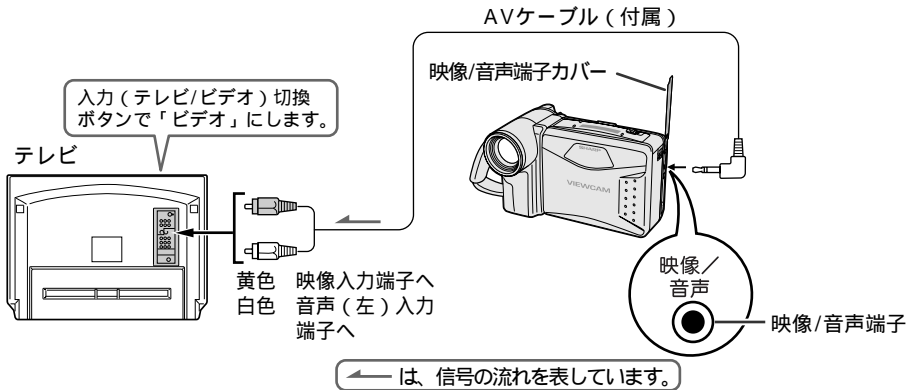
- 静止画再生が約5分以上、スロー再生が約40秒以上続けると、テープ保護のため自動的に再生状態になります。
- テレビやビデオプリンタと接続しているとき、静止画再生・スロー再生ではノイズが出たり、映像が乱れます。(本機の液晶モニターで見るときは、ノイズを少なく見やすくしてあります。)
- 静止画再生やスロー再生をしているときは、音が出ません。
- スロー再生は本体では操作できません。

テレビにつないで見る

テレビに直接つなぐときは、付属のAVケーブルを使用します。
電源は、ACアダプターを使ってコンセントからとることをおすすめします。

接続のしかた

- ① 本体の端子カバーを開ける
 - 端子カバーは取り外さないようにしてください。
- ② 付属のAVケーブルで本機とテレビを接続する



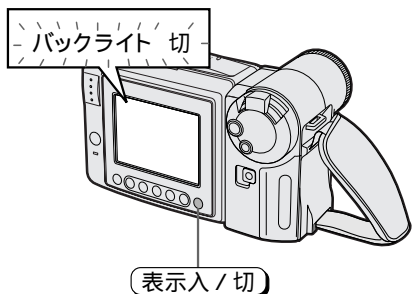
2 48ページの手順で再生する

お知らせ

- 本機をテレビに接続して見る場合、本機の音量が最大になっていると、テレビ映像がゆれることがあります。このときは、本機の音量を下げてください。
- 本機を他の機器と接続するときは、本機や接続する機器の電源を切ってください。電源を切らないで接続すると、画像の乱れや誤動作の原因となることがあります。
- ステレオタイプのテレビに音声を入力するときは、モノラル音声入力にしてください。
- くわしくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 再生するときは、付属のリモコンを使うと便利です。(22ページ)

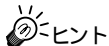
モニター画面を消すことができます(画面消灯機能)

本機(バッテリーパック使用時)とテレビを接続し、テレビ画面で映像を見るときなどは、本機の液晶モニター画面を消すことでバッテリーを節約することができます。



- 1 **表示入/切** を3秒以上押し続ける
 - 「バックライト 切」が表示され、モニター画面が消えます。

- 2 画面消灯を解除したいときは、もう一度 **表示入/切** を押す
 - 電源スイッチを「切」にしたり、カメラモードで **録画スタート/ストップ** を押した場合も画面消灯機能は解除されます。



ヒント

- バックライトは、ビデオモードでもカメラモードでも消灯することができます。

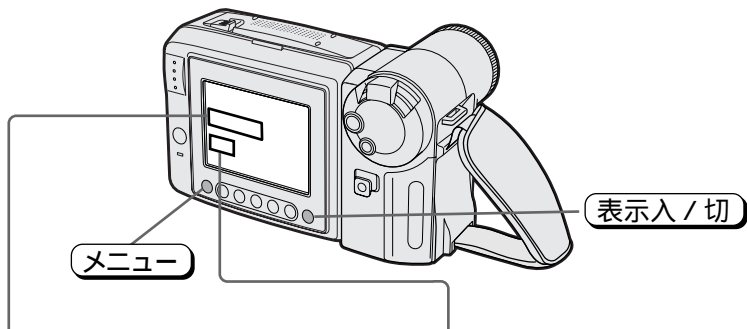


お知らせ

- 液晶モニターを消した状態で警告表示が発生した場合、画面消灯機能は解除されます。
- 画面消灯機能をひんばんに「入」「切」すると、バッテリーの消耗を早めることがあります。

バッテリーとテープの残量表示について

バッテリー残量やテープ残量をモニター画面でお知らせします。



テープ残量の確認

撮影中、テープ残量が約10分を切ると自動的に残量が表示されます。

テープ残量表示 テープ残量時間

テープ ■■■■■■	約10分
テープ ■■■■■□	約8分
テープ ■■■■■□□	約6分
テープ ■■■□□□	約4分
テープ ■□□□□	約2分

テープが残り
少なくなりました



テープを
交換してください

テープおわり

残量が約1分を
切ると警告表示
になります。

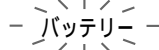
バッテリー残量の確認

表示入/切または**メニュー**でカメラモードやビデオモードの操作表示を出している時に、バッテリー残量が表示されます。

- バッテリー残量は目安としてご使用ください。
- 使用条件により、消耗が早くなることがあります。



バッテリーが残り
少なくなりました



バッテリー残量やテープ残量表示を消したいとき

表示入/切を押す

- テープ残量表示は、撮影のときの重要な情報となるので、表示を消してもテープ残量が変わるたびに再度表示されます。
- 操作表示も消えます。(警告表示は消えません。)

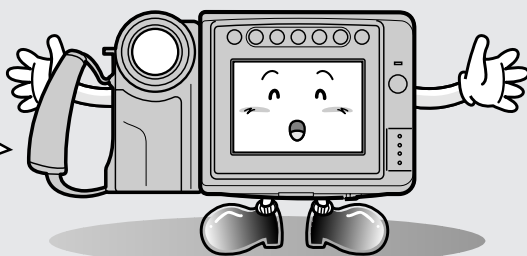
 お知らせ

- テープ残量表示の時間は、カセットテープのP6-120を基準にしているため、他のテープを使用したときは、多少ズれる場合があります。テープ残量は目安としてご使用ください。
- バッテリー残量表示は、電源スイッチの操作により増減することがあります。

いろいろな機能

いろいろな機能の使いかたを紹介します。

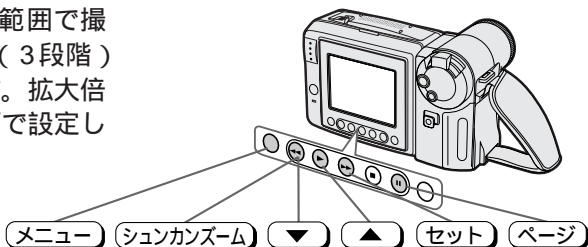
さまざまな状況にあった効果的な撮影をしてみましょう。



瞬時に拡大して撮影する(瞬間ズーム).....	56
作品のスタート・ラストシーンを効果的に撮影する(フェード).....	57
静止画を撮影する(スナップ/スチル/フォトモード).....	58
子画面を入れて撮影する(ピクチャー・イン・ピクチャー).....	60
連写で撮影する(ストロボ撮影).....	62
演出して撮影する(撮影効果).....	63
手動で明るさを設定する.....	64
ワイド画面(16:9)で撮影する.....	65
状況に合わせて撮影する(シーンアジャスト).....	66
自分で自分を撮影する(対面撮影).....	68
メッセージを残してもらつ(対面メッセージ撮影).....	70
手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス).....	72
ホワイトバランスをロックする.....	74
フルオートで撮影する.....	75
録画・再生の経過時間を表示する(カウンター表示).....	76
見たい場面を頭出しする(カウンターメモリー).....	77
撮影した場面を頭出しして見る(再生スタンバイ).....	78
暗い部分を明るくして再生する(ガンマ再生).....	79
液晶モニターの映像を調整する.....	80

瞬時に拡大して撮影する(瞬間ズーム)

光学式ズーム(1~16倍)の範囲で撮影中、被写体を最大で10倍(3段階)まで拡大することができます。拡大倍率は、カメラモード5/5画面で設定します。



瞬間ズームを使う



お知らせ

- 瞬間ズームのときは、画質が落ちます。(水平解像度が光学式ズーム時の約90%劣化します。)
- 瞬間ズームは、デジタルズーム領域では使えません。(画面に「シュンカンズーム」表示が出ているときのみ働きます。)

- ① **メニュー** を押してカメラモード1/5画面にする
- ② ズームしたい被写体を写しながら**シュンカンズーム**を押す
 - 「シュンカンズーム」表示が青から黄に変わり、瞬時に被写体が設定した倍率まで拡大されます。
 - **シュンカンズーム** を押すたびに「入(拡大)」「切(標準)」します。
 - 瞬間ズームの倍率設定を「ステップアップ」に設定している場合、**シュンカンズーム** を押すごとに次のように倍率が切り換わります。

→ 通常画面 → 2× → 4× → 10×

瞬間ズームの倍率を設定する



お知らせ

- 光学式ズームが16倍のときに瞬間ズームを使う場合、「2×」を選ぶと32倍、「4×」選ぶと64倍の倍率にズームアップします。「ステップアップ」に設定しているとき、**シュンカンズーム** を押し「10×」にすると、160倍にズームアップします。

- ① **メニュー** を押してカメラモード5/5画面にする
- ② **ページ** を押して「メニュー1」画面にする
- ③ **▼** または **▲** を押して「▶」マークを「シュンカンズーム」に合わせる
- ④ **セット** を押して倍率を選ぶ

● 倍率は次のように切り換わります。

→ 2× → 4×
「ステップアップ」

作品のスタート・ラストシーンを効果的に撮影する(フェード)

フェードイン

撮影開始のとき映像と音声徐徐に現れます。

フェードアウト

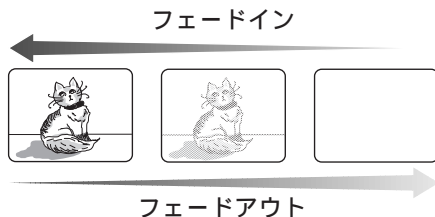
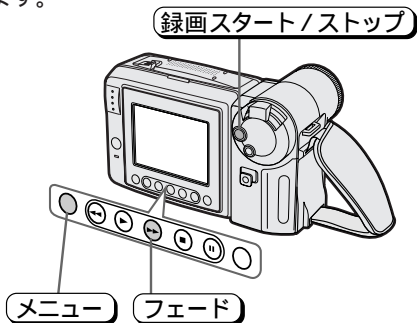
撮影終了のとき映像と音声徐徐に消えます。

こんな
ときに

作品のスタートを効果的に始めたいときや、場面の变化を自然に切り換えたり、余韻の残るラストシーンにしたいとき

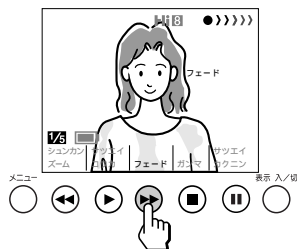
作品のスタート・ラストシーンを効果的に撮影する(フェード) 瞬時に拡大して撮影する(瞬間ズーム)

いろいろな機能



1 **メニュー**を押してカメラモード1/5画面にする

2



- フェードインは撮影待機中に
 - フェードアウトは撮影中に
- フェード**を押す

3 **録画スタート/ストップ**を押す

- フェードインでは、録画が開始され、画面が徐々に現れます。
- フェードアウトでは、画面が徐々に白くなり、撮影待機状態になります。
- フェードは終了後に自動的に解除されます。
- フェードは音声にもかかります。

フェードを解除するときは

フェード終了後：自動的に解除される

フェード前：再度**フェード**を押す

- フェードイン、フェードアウトが始まると解除はできません。

静止画を撮影する(スナップ/スチル/フォトモード)

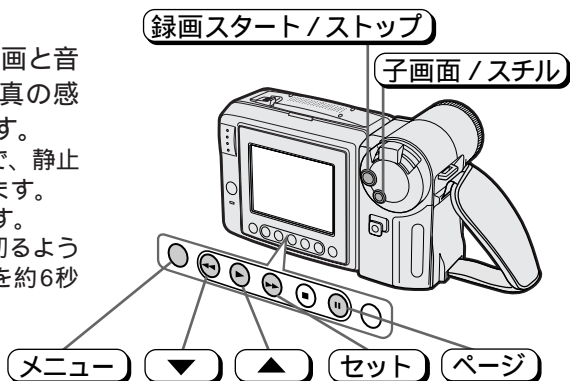
静止画撮影

3種類の静止画モードで、静止画と音声を記録します。スナップ写真の感覚で撮影したいときに便利です。

スナップ：スナップ写真の感覚で、静止画を約6秒間撮影します。

スチル：静止画の撮影をします。

フォト：カメラシャッターを切るような効果の後、静止画を約6秒間撮影します。



静止画撮影のモードを設定する

1



- ① **メニュー** を押してカメラモード5/5画面にする
- ② **ページ** を押して「メニュー1」画面にする

2



- ① **▼** または **▲** を押して「▶」マークを「コガメン/スチル」に合わせる
- ② **セット** を押して「スチル」を選ぶ
 - 「▶」マークが「スチル」に移動します。
- ③ **セット** を押してモードを選ぶ
 - モードは次のように切り換わります。

→スナップ→スチル→フォト

3

表示入/切 を押してメニュー画面を消す

スナップ/スチルモードで撮影する

1 撮影待機状態で、**子画面/スチル**を押す

- 静止画面になります。(この時点では、まだ録画は始まっていません。)
- もう一度**子画面/スチル**を押すと、静止画面が解除され、通常画面に戻ります。押すたびに「通常」「静止画面」と切り換わります。

2 **録画スタート/ストップ**を押す

- 静止画像が録画されます。
- スナップモードのときは、約6秒後に自動的に撮影待機状態になります。
- 静止画(スナップ/スチル)撮影を止めるときは、再度**録画スタート/ストップ**を押します。

お知らせ

- 静止画撮影では、通常撮影に比べて画質が多少劣化します。
- 長時間のスチル撮影は避けてください。液晶モニターに残像が現れることがあります。電源を切って放置しておくとも自然に消えます。

フォトモードで撮影する

撮影中に**子画面/スチル**を押す

- カメラのシャッターを切るような効果の後、静止画像が約6秒間録画されます。
- 自動的に撮影待機状態になります。

お知らせ

- 静止画撮影では、通常撮影に比べて画質が多少劣化します。

子画面を入れて撮影する(ピクチャー・イン・ピクチャー)

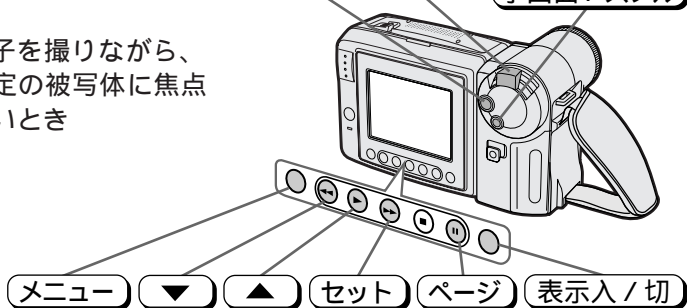
画面の中に子画面を入れて撮影できます。子画面は動画または静止画を選択できます。

こんなときに

全体の様子を撮りながら、同時に特定の被写体に焦点を当てたいとき

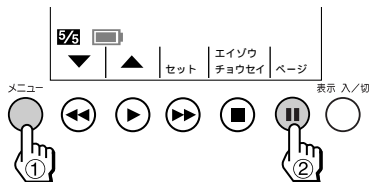
録画スタート/ストップ

ズームレバー 子画面/スチル



ピクチャー・イン・ピクチャーの設定をする

1



- ① **メニュー** を押してカメラモード 5/5 画面にする
- ② **ページ** を押して「メニュー1」画面にする

2



- ① **▼** または **▲** を押して「▶▶」マークを「コガメン/スチル」に合わせる
- ② **セット** を押して「コガメン」を選ぶ

3

表示入/切 を押してメニュー画面を消す



お知らせ

- ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使うと、次の各モード・機能が解除され、ピクチャー・イン・ピクチャー画面になります。
 - ストロボ撮影
 - ブレ補正
 - 16:9モード
 - デジタルズーム
 - 瞬間ズーム
- 対面撮影時(68ページ)はピクチャー・イン・ピクチャー機能が働きません。

ピクチャー・イン・ピクチャーで撮影する

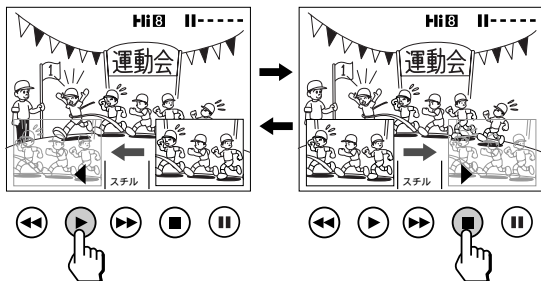
1



撮影待機状態または撮影中に
子画面/スチルを押す

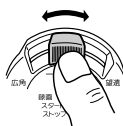
- 子画面が表示されます。

2



◀ または **▶** を押して、子画面の位置を決める

3



ズームレバーを操作して、子画面内の
画像の大きさを決める

- 子画面のズームはデジタルズームになります。

4



スチルを押す

- 子画面が静止画像になります。
- もう一度押すと、静止画像が解除されます。
- 子画面を静止画像にした後、**◀**または**▶**を押すと、静止画像が解除されます。

5

撮影待機状態のときは**録画スタート/ストップ**を押し、撮影を始める

- 子画面の映像を動画の状態ではじめたいときは、手順3の後に**録画スタート/ストップ**を押します。

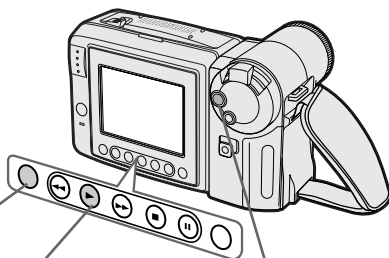
お知らせ

- ピクチャー・イン・ピクチャーモードのときに再度**子画面/スチル**を押すと、通常の撮影モードに戻ります。

連写で撮影する(ストロボ撮影)

音声とともにストロボ撮影(約1/5秒間隔の静止画を連続的に記録)ができます。

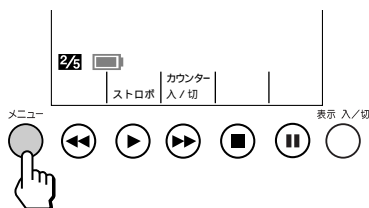
動いている被写体を分解写真の感覚で撮りたいときに便利です。



メニュー ストロボ 録画スタート/ストップ

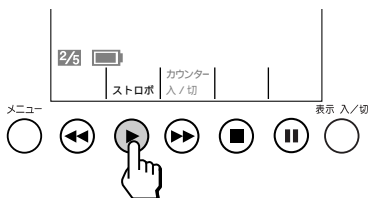
ストロボ撮影をする

1



メニュー を押してカメラモード 2 / 5 画面にする

2



ストロボ を押す

- ストロボ映像になります。
- もう一度**ストロボ**を押すと、ストロボ映像が解除され、通常画面に戻ります。押すたびに「通常」「ストロボ映像」と切り換わります。

3

録画スタート/ストップ を押す

- ストロボ撮影が始まります。
- 途中で止めるときは**録画スタート/ストップ**を押します。
- 通常の撮影に戻るときは再度**ストロボ**を押します。



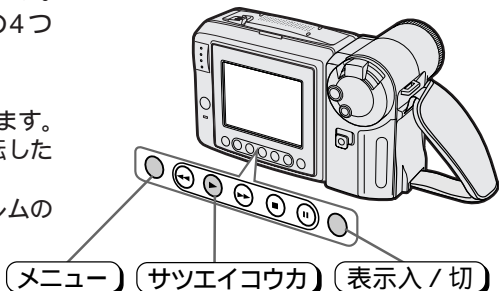
お知らせ

- ストロボ撮影では、通常撮影に比べて画質が多少劣化します。

演出して撮影する(撮影効果)

撮影画像に演出を加えることができます。
モノクロ、セピア、ソラリ、ネガポジの4つの撮影効果が選べます。

- モノクロ : 白黒の映像が撮影できます。
- セピア : 古い写真風の映像が撮影できます。
- ソラリ : ソラリゼーション(明暗が反転したような)映像が撮影できます。
- ネガポジ : ネガポジ反転した(ネガフィルムのような)映像が撮影できます。



演出して撮影する(撮影効果)
連続で撮影する(ストロボ撮影)

いろいろな機能

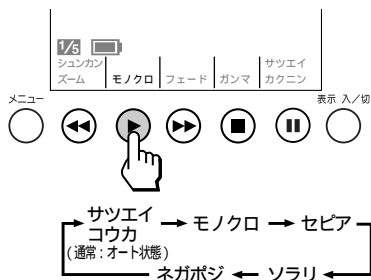
撮影効果をつかう

1



メニューを押してカメラモード1/5画面にする

2



サツエイコウカを押してお好みの撮影効果を選ぶ

- ボタンを押すごとに、左のように表示が切り換わります。

3

表示入/切を押して画面表示を消す

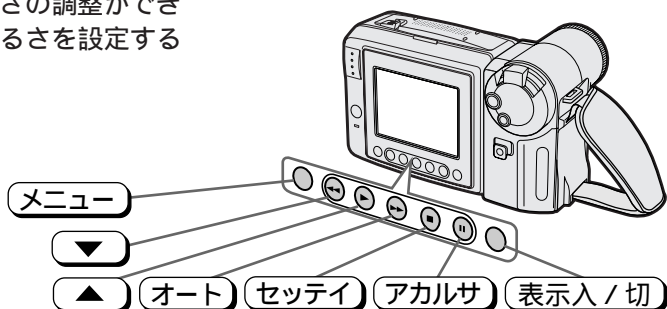
- 通常の撮影に戻るときは、手順2で「サツエイコウカ」が表示されるまで **▶** を押します。

お知らせ

- 一度電源(バッテリーパック等)を取り外すと、設定は通常に戻ります。

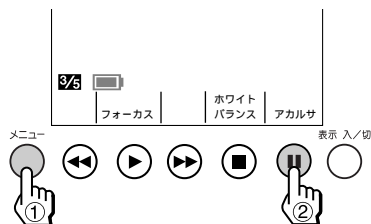
手動で明るさを設定する

「オート」でうまく明るさの調整ができないときは、手動で明るさを設定することができます。



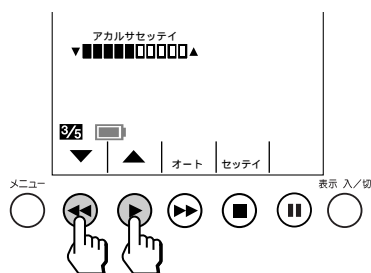
手動で明るさを設定する

1



- ① **メニュー**を押してカメラモード3/5画面にする
- ② **アカルサ**を押す
 - 「アカルサセッテイ」画面になります。

2



- ▲**または**▼**を押して明るさを設定する
- 明るさのレベルが表示されます。
 - このとき**オート**を押すと、明るさは自動調整となります。

3

セッテイを押す

- 3/5画面に戻ります。

4

表示入/切を押して画面表示を消す



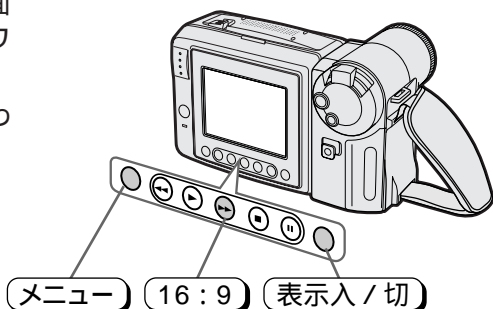
お知らせ

- 電源スイッチを切ると、明るさの設定は自動モード(オート)に切り換わりします。
- 手動で明るさを設定した場合は、明るさはそのままの状態になりますので、他の撮影をするときには再度設定し直してください。

ワイド画面(16:9)で撮影する

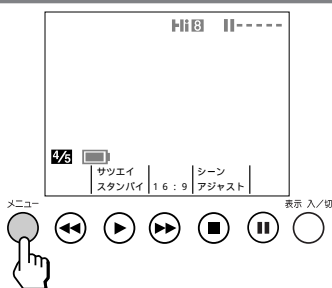
ハイビジョンやワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいときにワイド画面で撮影します。

- 接続するテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。



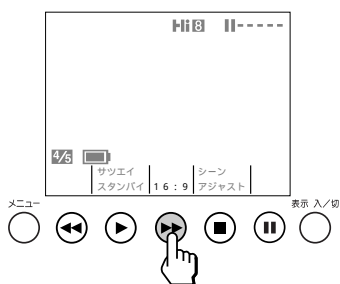
16:9 ワイドモードを設定する

1



メニュー を押してカメラモード4/5画面にする

2



16:9 を押す

3



表示入/切 を押して表示を消す



- カットされた部分は黒で記録されます。

通常の画面に戻す

カメラモード4/5画面を表示させ、もう一度**16:9**を押す

ワイド画面(16:9)で撮影する
手動で明るさを調整する

いろいろな機能

状況に合わせて撮影する(シーンアジャスト)

ほとんどの場合は「オート」で撮影できますが、撮影する状況に合わせて効果的に撮るため、4つの撮影モード(スポーツ、スキー、トワイライト、パーティ)を選べます。

スポーツモード

動きの早い被写体でもブレを少なく撮影できます(シャッター速度1/500秒)。テニスやゴルフのスイング、陸上競技などの撮影に効果的です。

- ゴルフ練習場などの照明(蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯)下で撮影すると、色あいや明るさが変化することがあります。



スキーモード

背景が明るくても被写体が黒くならないように撮影できます。スキー場や海水浴場での撮影に効果的です。



トワイライトモード

黄昏のほの暗さと夕焼けの赤をきれいに再現できます。夕焼けの撮影に効果的です。

- 極端に暗い所では、きれいに撮影できない場合があります。

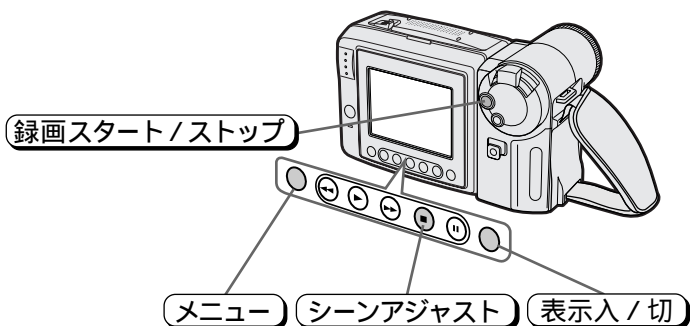


パーティモード

明暗の差が大きい被写体の明るさを調整し、白とびをおさえて撮影できます。スポットライトの当たっている被写体を撮影するのに効果的です。

- 野外でのパーティでは、通常(オート状態)で撮影することをおすすめします。





シーンアジャストの使いかた

1

メニュー

表示 入/切

メニュー を押してカメラモード4/5画面にする

2

メニュー

表示 入/切

シーンアジャスト (通常: オート状態)

スポーツ

スキー

トワイライト

パーティ

シーンアジャスト を押し、撮影状況に適したモードを選ぶ

- ボタンを押すごとに左のようにモードが切り換わります。

3 **録画スタート/ストップ** を押す

- 撮影が始まります。

通常(オート状態)に戻るとき

- ① 再度、同じボタン(■)を押して、表示を「シーンアジャスト」に戻す
- ② **表示入/切** を押して通常の画面にする

ヒント

- シーンアジャストを切り換えた状態で表示を消しても、選んだモードの状態での撮影ができます。

お知らせ

- 一度電源(バッテリーパック等)を取り外すと、シーンアジャストは<通常: オート状態>に戻ります。

自分で自分を撮影する(対面撮影)

液晶モニター部を180度回転させると、モニターと向き合った状態で撮影できます。

こんなときに

手に持って自分自身を撮影したり、机の上などに置いて、みんな一緒に記念撮影をしたいとき

屋内で...

パーティーなどでメッセージを映像で添えてもらうとき

—— 対面メッセージ撮影(70ページ)



屋外で...

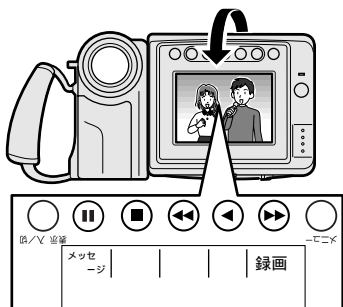
公園や海などで子どもが遊んでいる姿をリモコンを使って一緒に撮影するとき



対面撮影をします

1 電源スイッチを「カメラ」にする

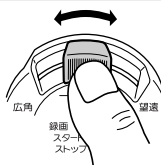
2



レンズ部を上にして液晶モニター部を180度回転させる

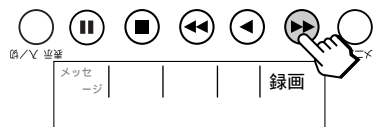
- 自動的に画面が切り換わります。

3



ズームレバーを操作して、ねらいどおりの構図になるよう調整する

4



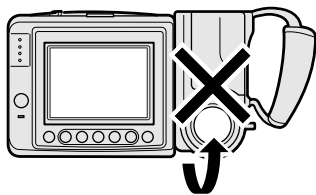
録画を押す

- 撮影が始まり、「録画」の表示が「停止」に変わります。
- 撮影を止めるときは**停止**を押します。



お知らせ


レンズ部を下にしないでください



- レンズ部を下にして撮影すると、画像が上下逆さに記録されてしまいます。
(三脚などへの取り付けには、別売の対面アングルVR-FA85が必要です。)

対面撮影にすると

- メニュー表示、日付記録、マニュアル撮影、撮影スタンバイ、画像調整などの機能は使えません。
- 撮影中(または再生中)は、液晶モニター部を180度回転させないでください。画像がゆれることがあります。
- 操作表示を消したいときは、**表示入/切**を押します。

対面撮影中、マークが点滅したら

- 異常が発生しています。液晶モニター部を元に戻して警告内容を確認してください。
- 画面が反転し鏡を見るような感覚でモニターに映ります。
- 液晶モニター部を元に戻すと画面も自動的に戻ります。(画面が自動的に反転する角度は、140度から200度です。)

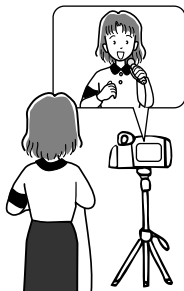
対面再生機能について

- 三脚などに取り付けて対面撮影をした後、そのまま再生することができます。電源スイッチを「ビデオ」にし、再生の操作をしてください。



ヒント

液晶モニター部を180度回転させると



- 離れた位置から撮影するときなど、リモコンを使って操作すると、不要なシーンの撮影を少なくでき便利です。(22ページ)
- 本体の**録画スタート/ストップ**でも撮影できます。

メッセージを残してもらおう(対面メッセージ撮影)

モニターを見ながら映像メッセージが撮影できます。

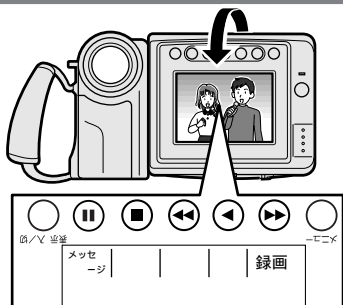
- 20秒間のメッセージを入れられます。
(時間を延長することもできます。)

こんな
ときに

結婚披露宴などで、お客さま自身に映像メッセージを添えてもらうとき

対面メッセージ撮影のしかた

1



電源スイッチを「カメラ」にして液晶モニター部を180度回転させる

- ズームレバーを操作して、ねらいどおりの構図になるよう調整してください。

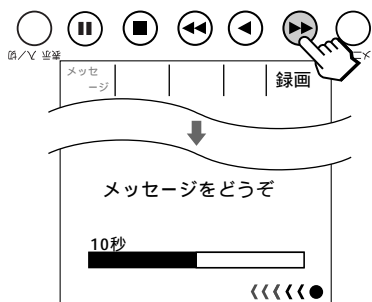
2



メッセージを押す

- 「録画ボタンを押してください」が表示され、「録画」が点滅します。

3



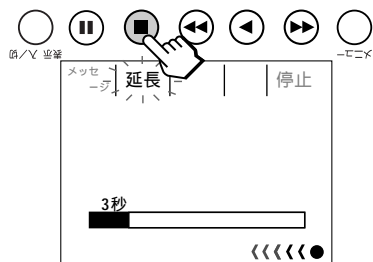
録画を押してメッセージを始める

- 時間の経過とともに時間グラフが減少し、残り時間5秒になると「延長」の点滅表示が出ます。
- メッセージ時間が終了するとフェードアウトし、撮影待機状態になります。

お知らせ

- 途中でメッセージを止めるときは、**停止**を押してください。

メッセージ時間を延長したいとき



「延長」が点滅表示しているときに
延長を押す

- メッセージ時間の残りが10秒に戻ります。
- メッセージ時間が終了するとフェードアウトし、撮影待機状態となります。

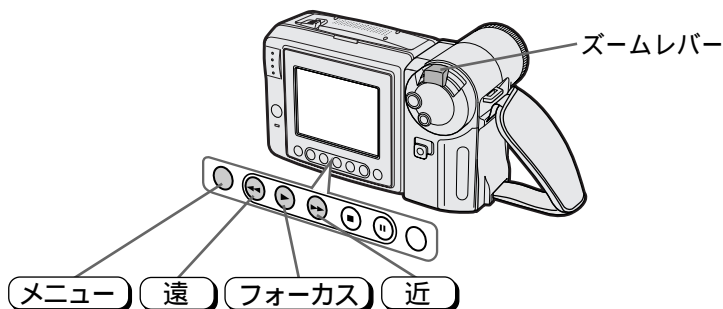
対面メッセージを終了する



メッセージを押す

手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス)

「オート」でピントが合いにくい場合には、手動でピントを合わせることができます。



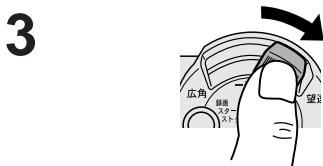
マニュアルフォーカスにする



メニュー を押してカメラモード3/5画面にする



フォーカス を押して「フォーカスマニュアル」にする



ズームレバーを「望遠」側に動かして最望遠にする

- フォーカスの精度を高めるための操作です。



遠 または **近** を押してピントを調整する

- ピントを合わせてから、ズームレバーを動かして映像の大きさを決めます。

💡 ヒント

- 自動でピントが合いにくい例



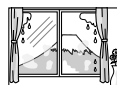
被写体が暗すぎる



コントラストが弱い



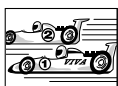
被写体に水平の線がある



窓に汚れや水滴がついている



被写体に繰り返し模様がある



被写体の動きが速い



背景が明るすぎる

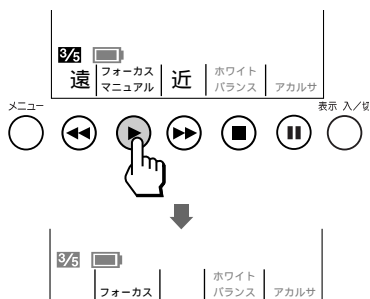


被写体が強い光を反射している



被写体の距離が異なる

オートフォーカスに戻す



フォーカスマニュアル を押す

📖 お知らせ

- 被写体が約1.5m以内にあると手動でピントが合わない場合があります。このようなときは、ズームレバーを広角側に動かしてピントを合わせてください。
- レンズが汚れたり曇ったりしていると、正しいピント合わせができません。
- 一度電源(バッテリーパック等)を取り外すと、マニュアルフォーカスは解除されます。

💡 ヒント

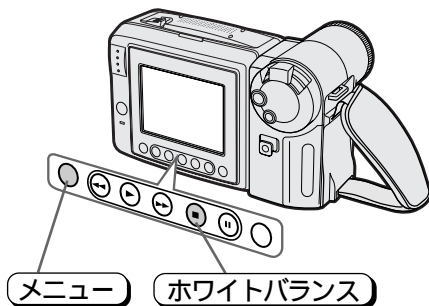
- 画面中央に被写体がない場合は、フォーカスエリアが広がって端の被写体にピントが合います。また、画面に被写体がないときは、被写体のあるところまで自動的にズームが広角になります。
- オートフォーカスで撮影するときは、被写体が常にモニターの中央にくるようにしてください。

ホワイトバランスをロックする

逆光の中や、夕方など光線の色が刻々と変わる状態で撮影するとき、ホワイトバランスをロックします。

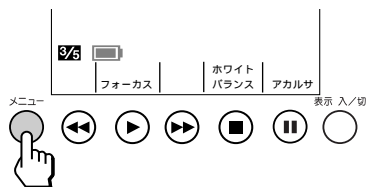
こんなときに

- 逆光の中や、室内で照明に色が付いている場所で撮影するとき
- ビデオライトなどの明るい光源を使用するとき
- 夕暮れ時など薄暗い場所で撮影するとき
- 接写するとき



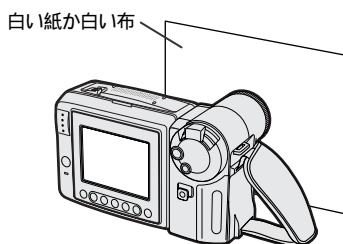
ホワイトバランスをロックする

1



メニュー を押してカメラモード3/5画面にする

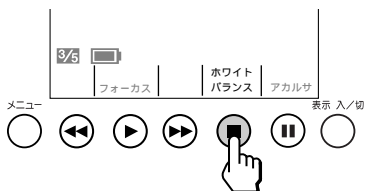
2



レンズの前に白い紙か白い布を置く

- モニターいっぱい白い色が表示されるようにします。

3



ホワイトバランス を押す

- 「ホワイトバランス」表示が黄色で点滅します。ホワイトバランスはロックされると、点滅が止まり黄色で表示されます。

4

レンズの前に置いた白い紙または布を取り除いて撮影する

 お知らせ

- 光源が変わるたびにホワイトバランスをロックしなおしてください。
- 手順3でホワイトバランス表示が点滅中は、カメラを動かさないでください。
- 「電源スイッチ」を切ると、ロックしたホワイトバランスは「自動設定」に戻ります。

フルオートで撮影する

通常の撮影では、フォーカス、明るさ、ホワイトバランスなどをすべて自動的に調整する「フルオート」モードで撮影すると、簡単に高画質の映像を録画することができます。

マニュアルモードにした場合、再びフルオートモードに戻すにはつぎの手順にしたがってください。

1 **メニュー** でカメラモード1/5画面を表示させ、**▶**を押して**▶**の上のボタン表示を「サツエイコウカ」にする

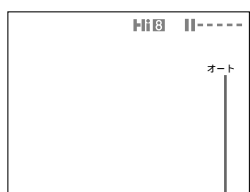
2 **メニュー** でカメラモード3/5画面を表示させ、**▶**を押して**▶**の上のボタン表示を「フォーカス」にする

3 **ホワイトバランス** を押して、「ホワイトバランス」の表示を青色にする

4 **アカルサ** を押し、明るさ設定画面になったら**オート** を押す
• 「アカルサ」が青色で表示されていることを確認してください。

5 **メニュー** でカメラモード4/5画面を表示させ、**■**を押して**■**の上のボタン表示を「シーンアジャスト」にする

6 **表示入/切** を押す
• 画面に「オート」が表示されます。



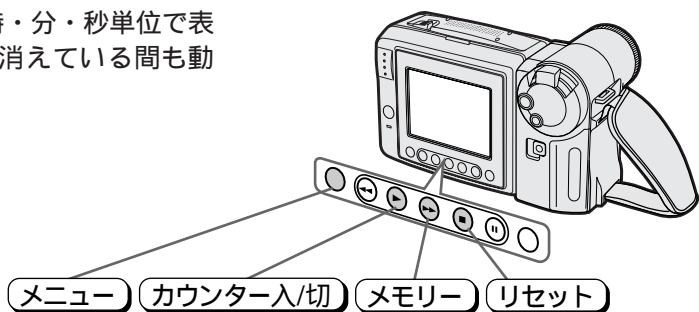
フルオートモード時の表示

ホワイトバランスをロックする
フルオートで撮影する

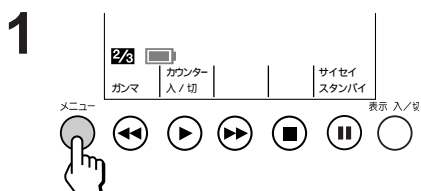
いろいろな機能

録画・再生の経過時間を表示する(カウンター表示)

テープ走行時間を時・分・秒単位で表示します。(表示が消えている間も動いています。)

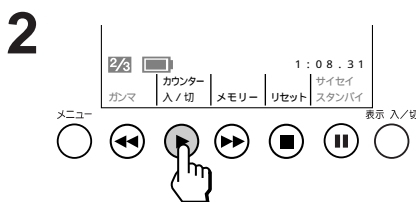


カウンター表示の出しかた



メニュー を押してビデオモード 2/3 画面にする

- カメラモードでは 2/5 画面にします。



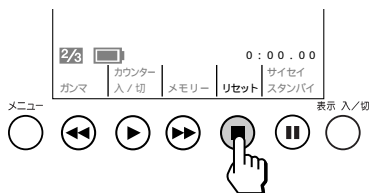
カウンター入/切 を押す

- カウンターが表示されます。

カウンター表示を消す

再度 **カウンター入/切** を押す

カウンターをゼロにする



カウンター画面にして **リセット** を押す



お知らせ

- 一度電源(バッテリーパック等)を取り外すと、カウンターは「切」になります。

見たい場面を頭出しする(カウンターメモリ)

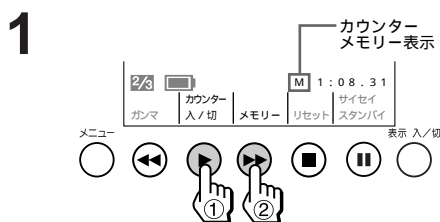
カウンターをゼロにした位置を記憶し、テープ頭出しが簡単にできます。

こんなときに

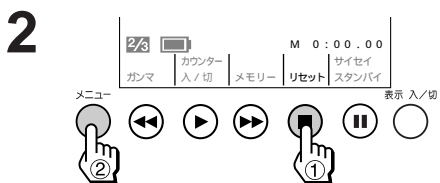
繰り返し見たい場面の頭出しをするとき

カウンターメモリの使いかた

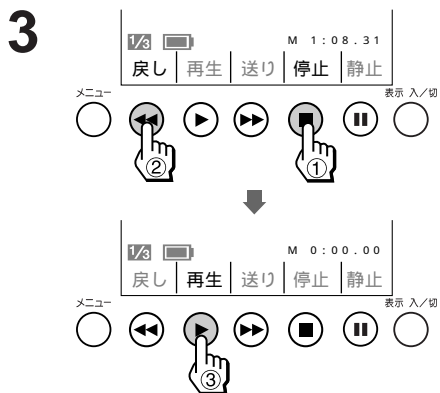
再生中にビデオモード2/3画面(撮影中はカメラモード2/5画面)を表示させます。



- ① **カウンター入/切** を押してカウンターを表示させる
- ② **メモリー** を押してカウンターメモリ表示「M」を出す



- ① 頭出ししたいところで**リセット**を押す
 - カウンターが「0:00.00」になります。
- ② **メニュー** を押して1/3画面にする



- ① 再生後、**停止** を押してテープを止める(または撮影後ビデオモードにする)
- ② **戻し** を押す
 - カウンターが「0:00.00」付近になるとテープが止まります。
 - 早送りでも頭出しができます。
- ③ **再生** を押して見たい場面を再生する

お知らせ

- カウンター値と実際の時間には、多少の誤差が出ます。
- ビデオサーチ時には、頭出しはできません。

カウンターメモリを解除するときは

- カウンター画面にして、もう一度**メモリー**を押す
- 「M」が消え、通常のカウンター表示に戻ります。

録画・再生の見たい場面を頭出しする(カウンターメモリ表示)の経過時間を表示する(カウンターメモリ表示)

いろいろな機能

撮影した場面を頭出しして見る(再生スタンバイ)

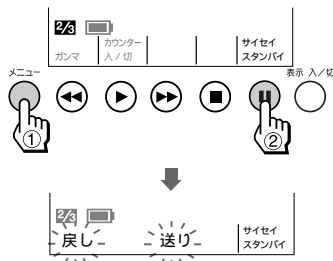
再生のとき、撮影スタート場面の頭出しが手軽にできます。

こんなときに

1本のテープにいくつかの撮影スタート場面があるとき

再生スタンバイの使いかた

1



① **メニュー** を押してビデオモード 2/3画面にする

② **サイセイスタンバイ** を押す

- 「戻し」または「送り」が点滅します。
- 解除するときには、もう一度 **サイセイスタンバイ** を押します。

2

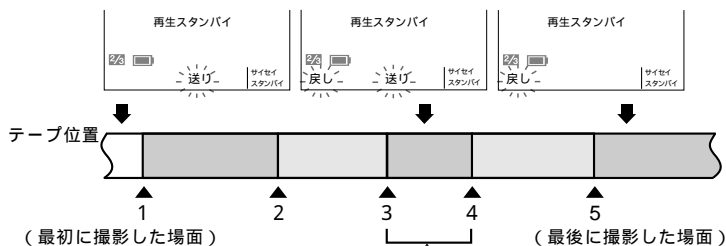


点滅中の **戻し** または **送り** を押す

- 撮影スタート場面の頭出しが開始されます。頭出しが完了すると自動的に再生になります。

- 「戻し」または「送り」の表示は約10秒後に自動的に消えます。
- 表示している間に **戻し** を押すと、さらに1つ手前の場面の頭出しができます。

例 5か所の頭出し場面がある場合



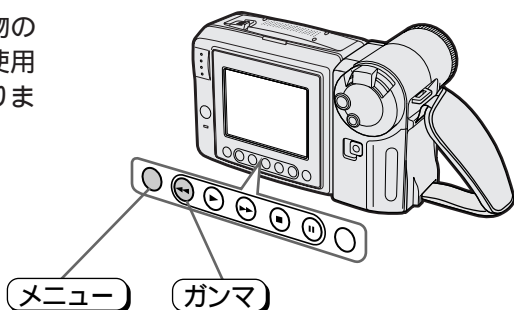
- 例 ● 3 …… 4 の再生中に **サイセイスタンバイ** を押した後、
- **戻し** を押す → 3を頭出しし、再生が始まります。
 - **送り** を押す → 4を頭出しし、再生が始まります。

お知らせ

- 撮影時間が10秒以下の場面では、頭出しはできません。
- 再生スタンバイは、テープが停止中または再生中に働きます。
- 一度テープを取り出すと再生スタンバイはできません。
- 頭出しは1場面ずつ行われ、最大10カ所まで行えます。(飛び越し頭出しはできません。)

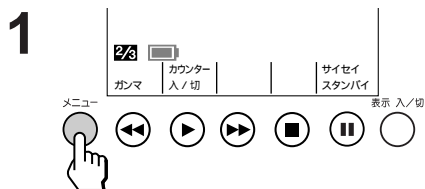
暗い部分を明るくして再生する(ガンマ再生)

撮影した映像を再生するとき、人物の顔などが、逆光などで暗い場合に使用すると、明るくなって見やすくなります。

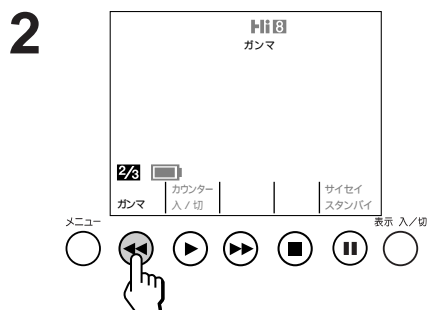


撮影した暗い部分を明るくして再生する(ガンマ再生)場面を頭出しして見る

ガンマ再生のしかた



再生または静止中、**メニュー**を押してビデオモード2/3画面にする



ガンマを押す

- ガンマ補正が働き、明るく見やすい映像になります。

お知らせ

- 再度**ガンマ**を押すと、通常モードに戻ります。

いろいろな機能

液晶モニター映像を調整する

周囲の状況により液晶モニターが見づらいときや好みの映像にしたいときは、明るさ、色の濃さ、色あい、およびバックライトを調整できます。

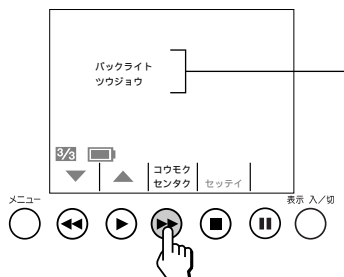
映像調整のしかた

1



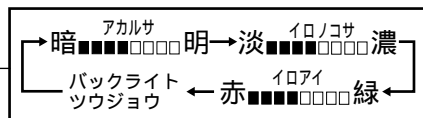
ビデオモード3/3画面(カメラモードでは5/5画面)で「エイソウチョウセイ」を押す

2



「コウモクセンタク」を押し、調整したい項目を選ぶ

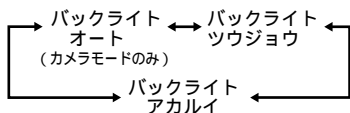
- 押すごとに、項目が下の図のように切り換わります。



3



バックライトの切り換えについて
バックライトはつぎのように切り換わります。



▼ または ▲ を押してお好みの映像に調整する

- カメラモードのときに「バックライトオート」を選ぶと、撮影時の周囲の明るさに応じて「ツウジョウ」と「アルカイ」が自動的に切り換わります。ビデオモードのときは、「バックライトオート」の項目はありません。

4

「セツテイ」を押す

- メニュー画面に戻ります。

5

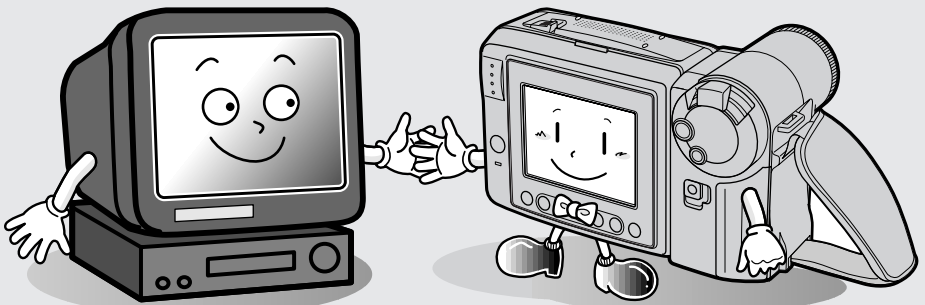
「表示入/切」を押して画面表示を消す



お知らせ

- 色の濃さや色あいの調整をすると、実際の撮影映像と異なるイメージになります。映像調整は、明るさの調整を中心にお使いください。(テープに記録されている映像は、映像調整を行っても変わりません。)

編集



編集のしかたを説明します。
撮影した映像の不要な部分を
カットし、オリジナル作品を
作ってみましょう。

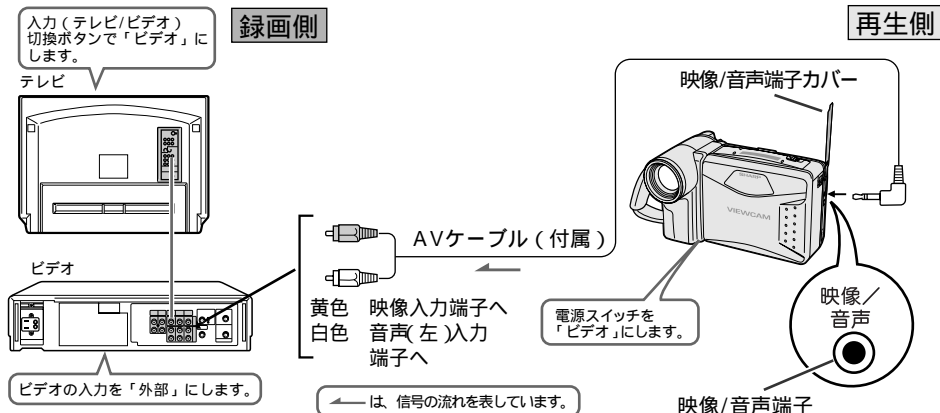
撮影した映像をビデオデッキで編集する	82
ビデオプリンタと接続する	84

撮影した映像をビデオデッキで編集する

本機を再生側、ビデオを録画側にして使うと、ストーリーにあった順序の入れ換え、不要部分のカットなどができます。

こんなとき オリジナルテープを作りたいとき

接続のしかた...付属のAVケーブルで本機と他のビデオを接続します。



- 音声入力端子が2つ(ステレオ)のビデオの場合、音声プラグ(白色)をビデオの音声入力端子(白色)に接続してください。

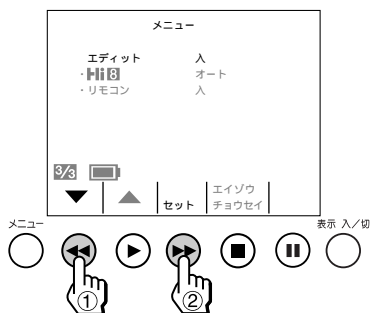
エディット機能

本機を再生側にしてビデオで録画・編集するとき画質の劣化を軽減できます。

1 **メニュー**を押してビデオモード3/3画面にする

- 撮影中にエディット機能は使用できません。

2



① **▼** または **▲** を押して「▶▶」マークを「エディット」に合わせる

② **セット**を押して「入」にする

- ダビング終了後、「エディット」を「切」にします。
- 「エディット」を「入」にして、ビデオモード1/3または2/3画面にすると、「エディット」が表示されます。(再生時は、「エディット」表示は出ません。)

ダビングのしかた

準備

- ▶ 再生側(本機)の準備
 - ① 電源スイッチを「ビデオ」にする
 - ② 撮影したテープを入れる
- ▶ 録画側ビデオの準備
 - ① ビデオの電源を入れる
 - ② 録画用のビデオテープを入れる
 - ③ 本機を接続した外部入力(L1・L2など)に切り換える

再生側(本機)

- 2 **再生** を押し、撮影したテープを再生する

録画側

- 3 録画側ビデオの録画ボタンを押し、録画を始める

不要なシーンのカットのしかた

準備

- 1 「ダビングのしかた」の「準備」と同様に、本機と録画側ビデオの準備をする

再生側(本機)

- 2 撮影したテープを再生し、カットしたい場面を探しておく



- カットするところをメモし、編集する位置まで巻き戻しておきます。

- 3 再生を始める

録画側

- 4 ビデオで録画を始める
- 5 カットしたいところでビデオの一時停止/静止ボタンを押す
- 6 録画を再開したいところでもう一度、一時停止/静止ボタンを押す

編集をやめるときは

- 停止** を押す

ヒント

- 不要なシーンをカットするとき、カウンター表示(76ページ)を使うと便利です。

お知らせ

- ダビング編集時、日付表示がテレビ画面に表示されているときは、その表示も録画されます。
- 編集したテープでは、再生中につなぎめの部分で映像が乱れる場合があります。
- 場合によっては、つなぎめが少しずれることがあります。

編集前のビデオテープ



編集後のビデオテープ

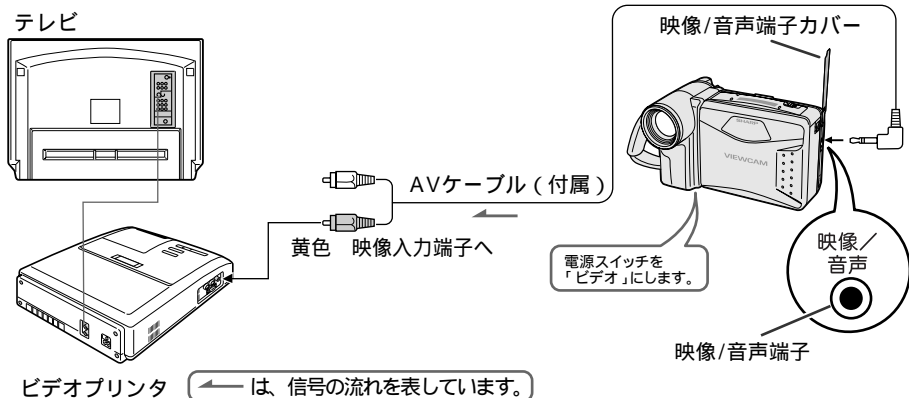


失敗したシーンをカットすることで、見やすいテープになります。見る人の立場になって編集作業を進ませましょう。

撮影した映像をビデオデッキで編集する

編集

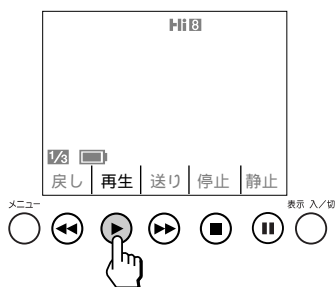
ビデオプリンタと接続する



- 付属のAVケーブルで本機とビデオプリンタを接続します。
- 付属のAVケーブルの音声プラグ(白色)は接続しないでください。

ビデオプリンタのメモリー画像をテレビに映すとき

1



ビデオモード1/3画面にし、再生を押す

2

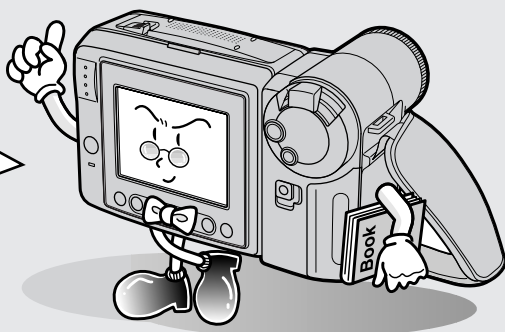


ビデオプリンタの電源を入れ、メモリーボタンを押す

- テレビ画面にメモリー画像が映ります。
- メモリー画像が映っている間もテープは走行しています。
- ビデオプリンタの使いかたについては、ビデオプリンタの取扱説明書をご覧ください。

役立つ情報

上手に撮影するための基礎知識
や困ったときに参考になる情報
をお知らせします。



撮りかたの基本	86
海外の電源コンセントについて	88
Hi8 について	89
ビデオテープについて	90
つゆ付き(結露)について	91
ヘッドの汚れについて	92
警告表示とお知らせメッセージ	93
故障かな?と思ったら	94
保証とアフターサービスについて	96
仕様	97
お客様ご相談窓口のご案内	98
海外でのお客様ご相談窓口	101
用語の解説	102
Quick Start Guide	103

撮りかたの基本

被写体は画面中央部にくるように

- フォーカスがオートのときは、画面中央部にピントが合います。

被写体は画面中央部に



被写体を端にした構図でピントがボケるときは、手動でピント合わせをします。(マニュアルフォーカス...72ページ)



カメラアングルは水平になるように

この画面は安定感があります。



このように傾けると画面が不安定です。



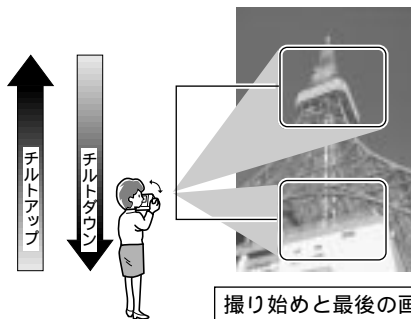
- ビデオカメラをあまり動かさすぎないようにして撮ると、見やすい映像になります。

順光で撮ることをおすすめします

- 被写体の後方が明るすぎると、被写体が暗く写ります。
- 逆光の中で撮るときは、逆光補正をします。(ガンマ撮影...43ページ)



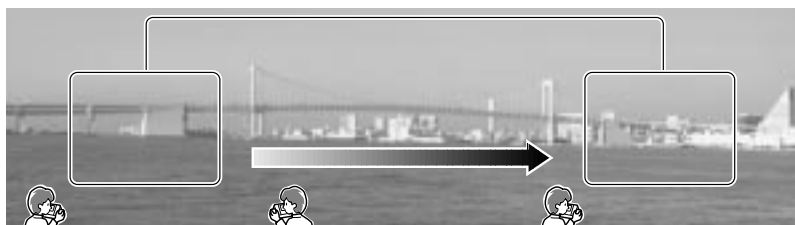
高さを表現したいとき(チルトアップ)



撮り始めと最後の画面は、数秒間安定した画面を撮るとより効果的になります。

本機を固定したまま上体を動かします。

広さや長さを表現したいときや、全景を撮影したいとき(パンニング)



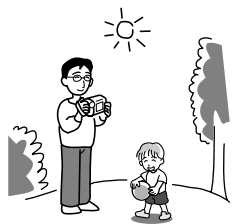
- まず、撮り終わりの方向に上体を向けて確認します。
- 足を動かさず、撮り始めの方向に腰を回してカメラを向け、撮影をスタートします。
- ゆっくりと腰を戻しながらカメラを回します。

撮り始めと最後の画面は、数秒間安定した画面を撮ると、より効果的になります。

照明について

自然光で撮るとき

太陽を背負うようなつもりでカメラポジションを選びましょう。そうすれば、被写体に太陽の光が均等に当たってきれいに撮れます。

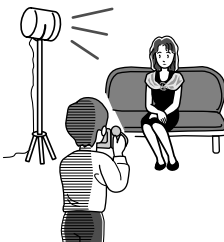


- 液晶モニターが見にくくなる場合があります。

照明を使うとき

ビデオライト1灯の場合

- 蛍光灯だけでも十分に撮影できますが、被写体が明るいほど、鮮明な映像が得られます。
- ライトは被写体の正面斜め上から当てます。



ビデオライト2灯の場合

- メインライトの影が強く出るところを消すつもりで補助ライトを当てます。補助ライトは、遠ざけたり白紙に反射させたりして、柔らかい光にして使います。
- 被写体に均一にライトを当てするには、左右から約45度の角度で当てます。



明るさの目安

この表は、あくまでも概算値です。明るさの目安としてお使いください。

照明が必要	<ul style="list-style-type: none"> ● ローソクの明るさ 20cm (10～15ルクス) ● ライターの明るさ 30cm (10～15ルクス) ● 街灯下の明るさ (50～100ルクス)
実用範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● 30W蛍光灯×2照明8畳間 (300ルクス) ● 百貨店売場 (500～700ルクス) ● 晴天日没1時間前太陽光 (1,000ルクス) ● 晴天日出1時間後太陽光 (2,000ルクス) ● 曇天午前10時太陽光 (25,000ルクス) ● 曇天昼太陽光 (32,000ルクス) ● 晴天午後3時太陽光 (35,000ルクス) ● 晴天午前10時太陽光 (65,000ルクス) ● 晴天昼太陽光 (100,000ルクス)
減光が必要	<ul style="list-style-type: none"> ● 晴れた日の海岸 ● 雪山

「ライト」表示について

液晶モニターに「ライト」が表示されたときは光量が不足しています。明るいところで撮ってください。「逆光の中や暗いところで撮影する(ガンマ撮影)」(43ページ)もご覧ください。

海外の電源コンセントについて

本機は海外でも使用できます

- 付属のACアダプターは、100～240Vに対応しておりますので、海外でも使用することが可能です。旅行先によっては、電源コンセントの形状が異なりますので、地域に合わせた変換プラグを用いて使用してください。(変換プラグは空港売店などで販売しています。)
- 電源電圧および電源コンセントの形状は、あらかじめ旅行代理店等でご確認ください。



注意

市販の電子式変圧器は使用しない

- ACアダプターを海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに接続しますと、火災・感電・故障の原因となることがあります。

海外の電源コンセントの種類					
タイプ	A	B	BF	C	S
壁のコンセントの形状例					
変換プラグを使用する	不要です。 ACアダプターのプラグを、直接差し込みます。 主に北米、南米などの場合			 主にヨーロッパなどで使います。	 主にオーストラリアなどで使います。

主な国名と変換プラグ

北米			
カナダ	A	アメリカ合衆国	A
中南米			
アルゼンチン	BF, C, S	バハマ	A
コロンビア	A	プエルトリコ	A
ジャマイカ	A	ブラジル	A, C
チリ	B, C	ベネズエラ	A
ハイチ	A	ペルー	A, C
パナマ	A, BF	メキシコ	A
オセアニア			
オーストラリア	S	トンガ	S
グアム	A	ニューゼーランド	S
タヒチ	C	フィジー	S
アジア			
インド	B, C	パキスタン	B, C
インドネシア	B, C	バングラデシュ	C
シンガポール	B, BF	フィリピン	A, C, S
タイ	A, BF, C	ベトナム	A, C
大韓民国	A, B, C	香港	B, BF
スリランカ	B	マカオ	B, C
中華人民共和国	A, B, BF, C	マレーシア	B, BF, C
ネパール	C	モンゴル	C

ヨーロッパ			
アイスランド	C	デンマーク	C
アイルランド	C	ドイツ	C
イギリス	B, BF	ノルウェー	C
イタリア	C	ハンガリー	C
オーストリア	C	フィンランド	C
ギリシャ	C	フランス	C
オランダ	C	ベルギー	C
スイス	B, C	ポーランド	B, C
スウェーデン	C	ポルトガル	B, C
スペイン	A, C	ルーマニア	C
中近東			
イスラエル	C	クウェート	B, C
イラン	C	ヨルダン	B, BF
アフリカ			
アルジェリア	A, BF, C	ザンビア	B, BF
エジプト	B, BF	タンザニア	B, BF
カナリア諸島	C	南アフリカ共和国	B, BF, C
ギニア	C	モザンビーク	C
ケニア	B, C	モロッコ	C

テレビで再生するときは、日本国内仕様のNTSC方式のテレビが必要です。

日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)を採用している国です。 (五十音順)			
● アメリカ合衆国	● グアテマラ	● 大韓民国	● ハイチ
● エクアドル	● グアム	● 台湾	● パナマ
● エルサルバドル	● コスタリカ	● チリ	● バルブダ
● カナダ	● コロンビア	● ドミニカ	● パルミダス
● キューバ	● スリナム	● トリニダード・トバゴ	● フィリピン
	● セントルシア	● ニカラグア	● プエルトリコ
			● ベネズエラ
			● ベルギー
			● ミャンマー
			● メキシコ
			● 米領サモア
			● ポリビア
			● ホンジュラス
			● ミクロネシア

Hi8について

Hi8とは

現行の8ミリビデオをもとに、高度な技術を駆使してさらに高解像度・高画質を実現したビデオ方式です。

高性能Hi8テープと組み合わせることで、画質向上が可能となり、鮮明でリアルな高画質を実現しました。

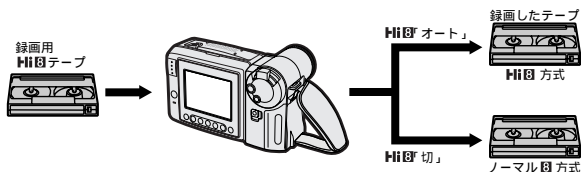
Hi8マークのついたビデオテープを使って高画質記録・再生ができるとともに、8マークのついたビデオテープでも従来どおりの記録再生がお楽しみいただけます。

録画

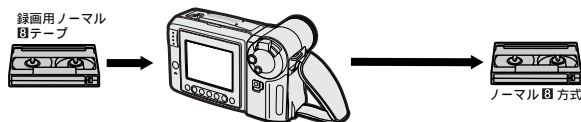
- 通常は、「Hi8 オート」の状態になっており、Hi8テープにはHi8方式で録画されません。(モニターにHi8マークが点灯します。)

Hi8テープをノーマル8方式で録画する場合は、録画待機中にメニュー画面でHi8を「切」に設定してください。

Hi8方式で記録したい場合は、もう一度メニュー画面で「Hi8 オート」に設定してください。(メニューの操作方法については30ページをご覧ください。)

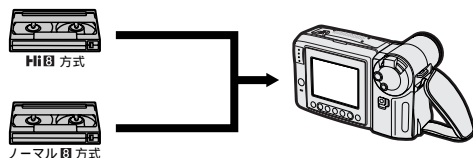


- ノーマル8テープのときは、「Hi8 オート/切」に関係なく自動的にノーマル8方式で録画します。(モニターのHi8表示が消えます。)



再生

- テープに記録されている方式を自動的に判別して再生します。



お知らせ

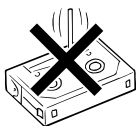
- 録画中はHi8の切り換えはできません。
- Hi8方式で録画したビデオテープは、ノーマル8方式専用のビデオ、ビデオカメラでは再生できません。
- Hi8方式で録画再生中は、Hi8マークがモニターに表示されます。
- Hi8方式で再生中、「表示入/切」でHi8マークの表示を消すことができます。

ビデオテープについて

ビデオテープの使用上のご注意

本機には、**Hi8**マーク、もしくは**B**マークの付いたビデオテープをご使用ください。本機は、L P(長時間)モードでの録画・再生はできません。

- 本機には、P C M録音や再生の機能はありません。
- P C M音声録音されているテープを重ねて記録した場合、P C M機能付ビデオで再生すると雑音が入ったり、音が出なかったりすることがあります。その場合は、そのビデオの音声モニタースイッチを「標準」にしてください。
- 録画済みのビデオテープに新しく録画すると、前の映像と音声は自動的に消えます。
- ビデオテープは裏返しでは使えません。
- テープを走行させないで、ビデオテープの無意味な出し入れを繰り返さないでください。テープがたるんでテープをいためる原因になります。
- ビデオテープ裏面の穴に異物が入らないようにしてください。



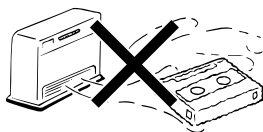
- ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。



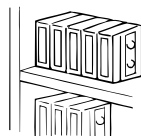
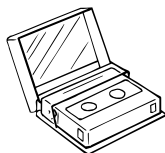
- 磁気をもっているもの(電気時計や磁石を使ったおもちゃなど)を近づけないでください。磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれることがあります。



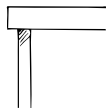
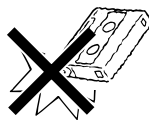
- 直射日光のあたるところや熱器具のそば、湿気の多いところは避けてください。



- カセットケースに入れ、立てて保管してください。

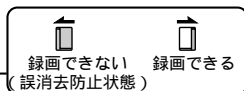
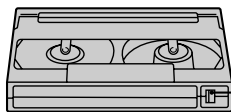


- 巻取りムラのある場合は、もう一度巻き直してください。
- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。



大切な録画済テープを誤って消さないために

ビデオテープの背にある誤消去防止ツマミを閉じて下さい。



つゆ付き(結露)について

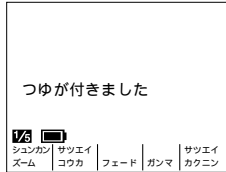
つゆ付きとは

よく冷えたジュースをコップに注ぐと、コップのまわりに水滴が付きます。

この状態を「つゆ付き(露付または結露)」といいます。ビデオの心臓部であるヘッドやドラムのまわりに「つゆ付き」がおきると、テープが貼りついてテープやヘッドを傷めてしまいます。

つゆ付きがおきると

「つゆが付きました」の文字が表示され、約10秒後に、ビデオカメラ保護のために自動的に電源が切れます。



- ビデオテープが入っているときは、テープを直ちに取出し、カセット入れを開けたまま数時間放置してください。
- 再び使うときは、数時間たってから再度電源を入れてください。警告表示「つゆが付きました」が出なければ、ご使用になれます。

つゆ付きがおきるとき

- 湿気の多いところで使用したとき
- 暖房した直後の部屋やエアコンなどの冷風が直接当たるとき
- 本機を寒いところから暖かいところへ急に移動したとき
- 冷房のきいたところから温度や湿度の高いところへ急に移動したとき

つゆ付きは、本機内部のヘッドドラムまわりだけでなく、テープやレンズにもおこります。

- テープにつゆ付きが発生したときは、**録画スタート/ストップ**を押してもテープが走行しないことがあります。この場合、ビデオテープを取り出し、2時間程度放置してからお使いください。
- レンズにつゆ付きが生じてくもったときは、しばらく放置して、くもりが消えてからお使いください。

つゆ付きによるトラブルを防ぐには

- 急に暖かいところへ移動したときなどは、約1時間ほど待ち、本機およびビデオテープとの温度差を小さくしてからお使いください。

寒いところ(スキー場など)から急に暖かい部屋に持ち込む場合は、ビニール袋などに本機を入れておき、袋の中の空気が部屋の温度になじんでから本機を取り出します。

知っておいていただきたいこと

- 通常、つゆ付きは徐々に進行します。つゆ付きが始まってから10～15分間は、現象が現れないことがあります。
- 寒冷地域では、つゆが凍結し、霜になっていることがあります。このような場合、霜が解けてつゆになるまでには、さらに時間がかかります。



お知らせ

- 本機を急に寒いところから暖かいところへ移動したときは、ご使用にならないでください。ヘッドの目づまりなどの原因になることがあります。
- 「つゆが付きました」の表示が出ているときは、ビデオテープを入れしないでください。

つゆ付き(結露)について

役立つ情報

ヘッドの汚れについて

大切な記録の前やヘッドの汚れによる症状がでたときは、ヘッドクリーニングをします。

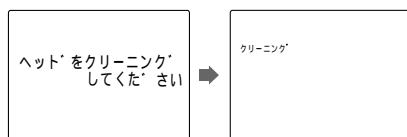
- ビデオヘッドが汚れると、正常に録画ができなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。このような症状が出ないよう、撮影の前などに、別売の乾式クリーニングテープを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。症状が出たときにも使えます。クリーニングテープご使用の際にはその取扱説明書をよくお読みください。



ヘッドが汚れると

カメラモードのとき「ヘッドをクリーニングしてください」が表示されます。

このようなときは、撮影/再生の操作をいったん中断してクリーニングテープをお使いください。



クリーニングテープは、別売の「VR-CT1」または市販の乾式8ミリ用のものをお買い求めください。


- 湿式クリーニングテープを本機にかけると、テープ走行しない場合がありますので、ご使用にならないでください。

ヘッドは長期間使用すると摩耗します。

- クリーニングテープを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドが摩耗していることがあります。このときは、ヘッドドラムの交換が必要です。お買いあげの販売店またはシャープのお客窓口にご相談ください。

警告表示とお知らせメッセージ

つぎのような警告表示が出たときには、説明にしたがって操作してください。

表示	意味
テープを取り出してください	<ul style="list-style-type: none">ビデオテープ保護機能が働いています。ビデオテープを取り出し、再度入れ直してください。(34ページ)
つゆが付きました つゆつき	<ul style="list-style-type: none">つゆ付き状態です。つゆ付きがなくなるまで数時間お待ちください。(91ページ) この表示の約10秒後に電源が切れ、表示も消えます。
テープを入れてください カセットなし	<ul style="list-style-type: none">ビデオテープがビデオカメラに入っていません。ビデオテープがカセット入れにきちんと入っていません。(34ページ)
バッテリーが残り少なくなりました バッテリー	<ul style="list-style-type: none">バッテリー残量がわずかです。充電したバッテリーパックと交換してください。(24、25ページ)
ヘッドをクリーニングしてください クリーニング	<ul style="list-style-type: none">ヘッドが汚れています。ヘッドクリーニングをしてください。(92ページ)
このテープでは録画できません カセットツマミ	<ul style="list-style-type: none">ビデオテープの誤消去防止ツマミが閉じているので、録画できません。ツマミを開けるか、テープを取り替えてください。(34、90ページ)
テープが残り少なくなりました テープ	<ul style="list-style-type: none">テープ残量がわずかです。新しいビデオテープを準備してください。
テープを交換してください テープおわり	<ul style="list-style-type: none">テープを使い切りました。新しいビデオテープと交換してください。(34ページ)
	<ul style="list-style-type: none">対面撮影時の警告表示です。モニター部を回転させ、通常撮影状態に戻して、警告内容を確認してください。

お知らせ

- 印の付いた警告表示は、カメラモード時のみ表示が出ます。
- 「バッテリーが残り少なくなりました」の表示が出ているときにズーム操作を行うと、すぐ電源が切れてしまう場合があります。充電済みのバッテリーと交換してください。

警告表示とお知らせメッセージ

役立つ情報

故障かな？と思ったら

この項にしたがって再度点検されても直らないときには、販売店にお問い合わせください。

	こんなときは	ここをおたしかめください	ご覧 いただく ページ
電 源	本機の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーパックは本機に正しく入っていますか。 ● 電源は正しく接続されていますか。 ● バッテリーパックは充電されていますか。 ● 本機内部がつゆ付きになっていませんか。「つゆ付き」が消えてからご使用ください。 ● 電源が入らないときは、一度電源スイッチを「切」にしてバッテリーパックを外し、約2秒たってから再びバッテリーパックを挿入し、電源を入れ直してください。 	24 26 25 91 24
	録画スタート/ストップボタンを押してもテープが走行しない	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオテープの誤消去防止用ツマミが閉じていませんか。ツマミの閉じているビデオテープには、録画・録音ができません。新しいビデオテープを用意するか、ツマミを開けて撮影してください。 	90
撮	電源が途中で切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮影待機状態が5分以上続いています。一度電源スイッチを「切」にし、再度「カメラ」にしてください。 ● バッテリーが消耗していませんか。 ● バッテリーパックを充電してください。 ● 充電したバッテリーパックと交換してください。 	38 54 25 24
	液晶モニター画面が見づらい	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像調整は行なっていますか。 	80
影	オートフォーカスが働かない	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスが手動(マニュアル)になっていませんか。 ● 被写体に近いのに、ズームアップしていませんか。 ● コントラスト(明暗差)のないもの、横縞または縦縞だけのものを撮っていませんか。 	72 40 73
	明るく光るものを撮ると縦に帯状の線が出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 背景とのコントラストが強いものを撮ったときに出る現象で、故障ではありません。 	-
中	ズームレバーを動かさないのに自動的に広角になる	<ul style="list-style-type: none"> ● 被写体が近く(約1.5m以内)にあるときに望遠にすると、ピントが合いにくくなります。このようなときは、広角にしておくか、フォーカスをマニュアルにして調整してください。 ● 画面に被写体がないときは、被写体があるところまで自動的にズームが広角になります。被写体のあるところにカメラを向けるか、あらかじめズームを広角にしておいてください。 	72 40

	こんなときは	ここをおたしかめください	ご覧 いただく ページ
再生中	早送り・巻戻し中に途中でテープがストップする	<ul style="list-style-type: none"> ● カウンターメモリーになっていませんか。カウンターメモリーを解除してください。 	77
	テレビ画面に映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● A V端子付テレビの場合は、テレビの入力切替ボタンで「ビデオ」にします。 ● A Vケーブルは正しく接続されていますか。 	52
	再生・巻戻し・早送りができない	<ul style="list-style-type: none"> ● テープが早送り・巻戻しを完了していませんか。 	-
	テープを再生するとザラザラな画面になったり消えてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオヘッドが汚れているため、ヘッドをクリーニングする必要があります。別売の乾式クリーニングテープ(VR-CT1)をお使いください。 ● 何度も使ったテープを使用していませんか。 	92 -
撮影中・再生中	電源スイッチをビデオ/カメラにしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーが消費していませんか。 ● A Cアダプターのプラグが、コンセントから外れていませんか。 	25 26
	バッテリーが消耗しやすい	<ul style="list-style-type: none"> ● 極端に温度の低い所で使用していませんか。 ● 十分に充電しましたか。 ● 完全に使い切ってから充電していますか。 	17 25 16
	ビデオテープが取り出せない	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーパックは充電されていますか。 ● 電源は正しく接続されていますか。 	25 26
	液晶モニター画面が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面消灯機能が働いていませんか。 	53

本機はマイコンを使用した機器です。マイコンを使用した機器は、電磁波を出しています。本機の電磁波が他の機器に影響をおよぼしたり、本機が外部からの影響を受けたりして、正常に動作しないことがあります。そのようなときは、本機から電源ユニット(バッテリーパックやA Cアダプター、ボタン電池など)を一度取り外してから、改めてご使用ください。

保証とアフターサービスについて

保証書(別添)

- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間...お買い上げの日から1年間です。ただし、バッテリーパック、ショルダーベルト、DCケーブル、AVケーブル、レンズキャップ、ボタン電池等は除きます。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修性能部品の最低保有期間

- 当社は、この液晶8ミリビデオカメラの補修性能部品を製造切後、最低8年保有しています。
- 補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(98ページ)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは **持込修理**

- 「故障かな?と思ったら(94ページ)を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ

お客様へ...

お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	
	電話() -

美しい画面を見るための点検のおすすめ

本機は撮影した内容を磁気テープに記録したり、再生したりするため非常に高い精度を必要とする機械です。

お使いになる間にテープの駆動部分などが汚れたり、摩耗したりしてきます。

性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、使用環境 温度、湿度、ホコリ 等に左右されますが、およそご使用1,000時間をめどに清掃、注油、一部部品交換されることをおすすめいたします。くわしくは、販売店にご相談ください。

愛情点検



長年ご使用の液晶8ミリビデオカメラの点検を!
こんな症状はありませんか?
● ACアダプターやコードが異常に熱い。
● コゲくさい臭いがする。
● ACアダプターのコードに深いキズや変形がある。
● その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

仕様

形名	VL-EH500
品名	液晶8ミリビデオカメラ
電源	DC 3.6V
消費電力	5.2W(オートフォーカス合焦時、バックライト切換「ツウジョウ」時、およびズーム停止時)
信号方式	NTSC日米標準信号
録画方式	回転式2ヘッドヘリカルスキャン方式
使用カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
テープ速度	約1.43cm/秒
録画時間	最大120分(P6-120にてACアダプター使用時)
巻戻し・早送り時間	約7分(P6-120にてACアダプター使用時)
映像出力	1.0 Vp-p 75 不平衡
音声記録方式	モノラル
音声出力	-8dBs 出力インピーダンス2.2k 以下
スピーカー出力	200mW
撮影カラー方式	CCD補色カラー方式
撮像素子	4.5mm(1/4型)CCD固体撮像素子27万画素 (オプティカルブラック部を含む)
必要最低照度	8ルクス(F1.4/感度アップ入時)
モニター	カラーモニター(112,320画素10cm4型液晶)
レンズ	光学16倍ズームレンズ(F=1.4、f=4.0~64mm)
レンズフィルター径	46mm
ホワイトバランス調整	自動追尾方式
アイリス	マルチ重点測光方式
フォーカス	フルレンジ映像処理方式/手動切換可
許容動作温度/湿度	0~40/30%~80%
許容保存温度	-20~+60
外形寸法	幅181mm、奥行99mm、高さ109mm
本体質量	約710g
撮影時総質量	約895g(バッテリーパック:VR-BH12 カセットテープ:P6-120、レンズキャップ、ボタン電池)

ACアダプター

電源	AC100-240V、50/60Hz
定格出力	DC7V、15W
動作温度	0℃~+40℃
保存温度	-20℃~+60℃
外形寸法	幅68mm、奥行138mm、高さ37mm
質量	約210g

バッテリーパック

形名	VR-BH12
使用電池	ニッケル水素蓄電池
公称電圧/容量	DC3.6V/2500mAh
使用温度	0℃~+40℃
外形寸法	幅54mm、奥行56mm、高さ19mm
質量	約136g

付属品

ACアダプター、ACケーブル、バッテリーパック、AVケーブル、ワイヤレスリモコン、レンズキャップ、ボタン電池、ショルダーベルト、単3乾電池(2個)、取扱説明書(本書)、クリーニングクロス、保証書

製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。また、本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には最新のカatalogで適合性や在庫の有無をご確認ください。

保証とアフターサービスについて

仕様

役立つ情報

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買いあげの販売店へ

なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入などのご相談は..... **修理ご相談窓口** へ

(注)*印の窓口は『持ち込み修理及び部品購入』のご相談窓口です。

なお、この地域の出張修理はCSセンターにご相談ください。

- 製品に対するご意見・ご要望などは..... **一般ご相談窓口** へ

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	
北海道	CSセンター 〔*札幌〕	(011)641-4690 (011)641-4685	札幌市西区二十四軒1条7-3-17	
	北見	(0157)36-4649	北見市三輪435	
	帯広	(0155)21-6925	帯広市西8条南3-17	
	苫小牧	(0144)34-7740	苫小牧市本町2-6-10	
	室蘭	(0143)45-4649	室蘭市中島町1-9	
	釧路	(0154)25-4649	釧路市光陽町8-13	
	旭川	(0166)25-4649	旭川市一条通4-左10	
	函館	(0138)51-4649	函館市五稜郭町31-17	
	青森県	青森	(0177)38-0281	青森市妙見3-3-4
弘前		(0172)27-4649	弘前市豊田3-5-1	
八戸		(0178)44-4649	八戸市小中野2-8-16	
秋田県	秋田	(018)863-4649	秋田市川尻町大川反170-56	
	横手	(0182)33-4649	横手市横手町六の口5	
岩手県	岩手	(019)638-6087	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1	
	釜石	(0193)23-4649	釜石市上中島町4-6-43	
宮城県	CSセンター 〔*宮城〕	(022)288-9250 (022)288-9142	仙台市若林区卸町東3-1-27	
	山形県	山形 酒田	(023)631-4649 (0234)24-4649	山形市飯田2-7-43 酒田市大町19-5
福島県	福島	(024)945-4649	郡山市安積町荒井方八丁33-1	
	会津若松	(0242)25-4649	会津若松市山見町41-2	
	いわき	(0246)28-4649	いわき市自由ヶ丘37-10	
新潟県	CSセンター 〔*新潟〕 〔*長岡〕	(025)285-1513 (025)285-3663 (0258)23-1819	新潟市上所中1-7-21 長岡市撰田屋町崩2600	
	栃木県	CSセンター 〔*栃木〕 〔*小山〕	(03)5692-7722 (028)637-1179 (0282)62-5466	宇都宮市不動前4-2-41 下都賀郡藤岡町藤岡5201
		群馬県	CSセンター 〔*群馬〕	(03)5692-7722 (027)252-4706
茨城県			CSセンター 〔*茨城〕 〔*南茨城〕	(03)5692-7722 (029)241-4930 (0298)57-9130
	埼玉県	CSセンター 〔*埼玉中央〕 〔*埼玉東〕	(03)5692-7722 (048)666-7987 (0489)78-7101	大宮市宮原町2-107-2 越谷市南荻島346-1
		千葉県	CSセンター 〔*千葉〕 〔*西千葉〕	(03)5692-7722 (043)299-8840 (0473)68-4766

担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	所 在 地
千 葉 県	* 東千葉	(0479)79-1181	八日市場市高字東 2779-4
	* 木更津	(0438)37-7912	木更津市請西 2-5-22
東 京 都	CSセンター	(03)5692-7722	
	* 江 東	(03)3626-4642	東京都墨田区石原 2-12-3
	* 城 南	(03)3776-2419	東京都大田区南馬込 1-5-15
	* 城 北	(03)3972-4195	東京都板橋区東新町 1-33-11
	* 世田谷	(03)3707-3345	東京都世田谷区用賀 3-8-18
	* 田 端	(03)5692-7765	東京都北区東田端 2-13-17
神 奈 川 県	* 三多摩	(042)586-6059	日野市日野台 5-5-4
	CSセンター	(03)5692-7722	
	* 横 浜	(045)753-4647	横浜市磯子区中原 1-2-23
	* 湘 南	(0463)54-4738	平塚市田村 1381
山 梨 県	* 相模原	(0427)59-4195	相模原市横山 2-2-12
	CSセンター	(03)5692-7722	
山 梨 県	* 山 梨	(055)228-5375	甲府市富竹 2-1-17
	CSセンター	(054)285-9360	
静 岡 県	* 静 岡	(054)285-9340	静岡市曲金 6-8-44
	* 沼 津	(0559)22-5249	沼津市宮前町 11-4
	* 浜 松	(053)463-4680	浜松市植松町 1476-2
長 野 県	CSセンター	(026)293-6612	
	* 松 本	(0263)27-4694	松本市芳野 8-14
	* 長 野	(026)293-6262	長野市篠ノ井塩崎東田沢 6877-1
愛 知 県	CSセンター	(052)332-5880	
	* 名古屋	(052)332-2623	名古屋市中川区山王 3-5-5
	* 岡 崎	(0564)24-2343	岡崎市柿田町 1-21
岐 阜 県	* 豊 橋	(0532)53-4647	豊橋市下地町橋口 17-1
	CSセンター	(052)332-5880	
岐 阜 県	* 岐 阜	(058)273-4969	岐阜市六条南 3-12-9
	* 濃 飛	(0574)26-4626	可児市土田下切 3832-1
三 重 県	CSセンター	(052)332-5880	
	* 三 重	(059)232-6300	津市栗真町屋町蒲池 328
富 山 県	CSセンター	(076)269-1875	
	* 富 山	(076)451-2459	富山市金泉寺 71-1
石 川 県	CSセンター	(076)269-1875	
	* 金 沢	(076)249-2434	石川郡野々市町御経塚町 1096-1
福 井 県	CSセンター	(076)269-1875	
	* 福 井	(0776)54-2459	福井市北四ツ居町 625
滋 賀 県	CSセンター	(06)6795-2899	
	* 滋 賀	(077)545-4692	大津市栗林町 11-35
	* 彦 根	(0749)24-4643	彦根市東沼波町 133
京 都 府	CSセンター	(06)6795-2899	
	* 京 都	(075)672-2378	京都市南区上鳥羽菅田町 48
	* 北近畿	(0773)23-9151	福知山市未広町 6-13
大 阪 府	CSセンター	(06)6795-2800	
	* 大 阪	(06)6643-5331	大阪市浪速区恵美須西 1-2-9
	* 堺	(0722)45-4651	堺市老松町 1-39
	* 大阪TC	(06)6794-5611	大阪市平野区加美南 3-7-19
	* 南大阪	(0724)31-1950	貝塚市沢 1215
	* 北大阪	(0726)34-4519	茨木市鮎川 5-15-3
(兵庫県)	* 阪 神	(06)6421-4877	尼崎市猪名寺 3-2-10
	CSセンター	(06)6795-2899	
兵 庫 県	* 兵 庫	(078)791-1541	神戸市須磨区弥栄台 3-15-2
	* 神 戸	(078)453-4651	神戸市東灘区魚崎北町 1-6-18
	* 姫 路	(0792)66-1819	姫路市青山 5-7-7
	* 豊 岡	(0796)23-7515	豊岡市九日市上町下畑 77-1

お客様のご相談窓口のご案内

役立つ情報

お客様ご相談窓口のご案内(つづき)

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
奈良県	CSセンター	(06)6795-2899	大和郡山市美濃庄町 492 御所市茅原 4-3
	{ *奈良	(0743)53-6693	
	{ *奈良南	(0745)65-1492	
和歌山県	CSセンター	(06)6795-2899	和歌山市西小二里 2-4-91 田辺市稲成町 441-1
	{ *和歌山	(073)445-4615	
	{ *南紀	(0739)25-3121	
鳥取県	鳥取	(0857)27-8831	鳥取市青葉町 2-204
岡山県	CSセンター	(086)292-1707	都窪郡早島町矢尾 828
	{ *岡山	(086)292-1709	
島根県	CSセンター	(0852)24-4811	松江市西津田 3-1-10
	{ *松江	(0852)24-4810	
広島県	CSセンター	(082)874-8071	広島市安佐南区西原 2-13-4
	{ *広島	(082)874-8149	
	CSセンター	(0824)28-7448	東広島市八本松東 4-3-30
	{ *東広島	(0824)28-7490	
	CSセンター	(0849)51-7644	
{ *福山	(0849)51-7654	福山市津之郷町津之郷上開地	
山口県	CSセンター	(083)972-0870	吉敷郡小郡町若草町 4-12 下松市西豊井 173-1
	{ *山口	(083)972-0891	
	{ *東山口	(0833)44-0923	
香川県	CSセンター	(087)823-5513	高松市朝日町 6-2-8
	{ *香川	(087)823-4901	
徳島県	CSセンター	(088)625-4684	徳島市中常三島町 3-11-14
	{ *徳島	(088)625-4654	
愛媛県	CSセンター	(089)971-4729	松山市高岡町 178-1 宇和島市中沢町 1-1-20
	{ *愛媛	(089)971-4563	
	{ *南予	(0895)25-4722	
高知県	CSセンター	(0888)82-4021	高知市高須 960-1
	{ *高知	(0888)82-4635	
福岡県	CSセンター	(092)586-1122	福岡市博多区井相田 2-12-1 久留米市御井旗崎 3-7-14 北九州市小倉北区大手町 6-12
	{ *福岡	(092)572-4652	
	{ *南福岡	(0942)45-8211	
	{ *北九州	(093)592-4677	
佐賀県	CSセンター	(092)586-1122	佐賀市鍋島町八戸五本松籠 2043-2
	{ *佐賀	(0952)24-9450	
長崎県	CSセンター	(095)844-1870	大村市古賀島町 613-3 佐世保市白岳町 107-5
	{ *長崎	(0957)52-3511	
	佐世保	(0956)32-6666	
大分県	CSセンター	(097)552-9416	大分市松原町 3-5-3
	{ *大分	(097)552-2313	
熊本県	CSセンター	(096)366-7070	熊本市新屋敷 3-15-17 本渡市港町 19-3
	{ *熊本	(096)364-4777	
	天草	(0969)23-8711	
宮崎県	CSセンター	(0985)31-1823	宮崎市原町 4-12 北諸県郡三股町大字蓼池 624-1
	{ *宮崎	(0985)31-1832	
	{ *都城	(0986)52-1311	
鹿児島県	CSセンター	(099)253-0250	鹿児島市鴨池新町 12-1
	{ *鹿児島	(099)253-4600	

沖縄シャープ電機株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那覇	(098)861-0866	那覇市曙 2-10-1
	先島	(09807)3-3603	平良市下里 1178-5
鹿児島県	奄美	(0997)53-4777	名瀬市塩浜町 8-1

一般ご相談窓口

シャープ株式会社

東日本相談室	TEL(043)297-4649 FAX(043)299-8280	〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL(06)6621-4649 FAX(06)6792-5993	〒547-0003 大阪市平野区加美南4-3-41

シャープエンジニアリング株式会社

北海道支店消費者相談室	(011)642-4649	〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北支店消費者相談室	(022)288-9147	〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27
首都圏支店消費者相談室	(03)3893-4649	〒114-0013 東京都北区東田端2-13-17
中部支店消費者相談室	(052)332-4649	〒454-8721 名古屋市中川区山王3-5-5
近畿支店消費者相談室	(06)6794-7041	〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
中国支店消費者相談室	(082)874-4649	〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
四国支店消費者相談室	(087)823-4901	〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
九州支店消費者相談室	(092)572-4655	〒816-0081 福岡市博多区井相田2-12-1

所在地・電話番号などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(00.06)

海外でのお客様ご相談窓口

- この商品は国内仕様ですが、旅行等で海外へ携帯され万一の故障等不具合が生じた場合、下記の弊社のサービス窓口にて連絡頂きご相談ください。
付属している保証書は、日本国内のみ有効です。アフターサービスの費用は有料となります。
- 相談窓口一覧表 (99.10)

会社名 住所 電話番号	会社名 住所 電話番号	会社名 住所 電話番号
アメリカ Sharp Electronics Corporation 1300 Naperville Drive Romeoville, Illinois 60446 U.S.A. TEL: 1-800-237-4277/800 BE-SHARP	カナダ Sharp Electronics of Canada Ltd. 335 Britannia Road East Mississauga, Ontario L4Z1W9 Canada TEL: (905) 890-2100/(877) SHARP-CC	ドイツ Sharp Electronics (Europe) GmbH Sonninstrasse 3 20097 Hamburg Germany TEL: (040) 23760
イギリス Sharp Electronics (U.K.) Ltd. Sharp House Thorp Road, Newton Heath Manchester, M40 5BE U.K. TEL: (0161) 205-2623	オーストラリア Sharp Corporation of Australia Pty. Ltd. 1 Huntingwood Drive, Huntingwood N.S.W. 2148 Australia TEL: 1-800-807 820	香港 Sharp-Roxy (Hong Kong) Ltd. Service Centre Unit B&D, 7/F., Roxy Industrial Centre, 58-66 Tai Lin Pai Road, Kwai Chung, N.T. TEL: 2410-2688
シンガポール Sharp-Roxy Sales (Singapore) Pte. Ltd. 138 Robinson Road, #21-00, Hong Leong Centre, Singapore 068906 TEL: 0226-1191	タイ Sharp Thebnakorn Co., Ltd. 664, Siphraya, Road Bangrak, Bangkok 10500, Thailand TEL: (02)236-0170/233-1150	北京(中国) SHARP 夏普株式会社 北京事務所 北京市朝陽区北三環東路8号 静安中心1072室 TEL: (010)6468-9118
上海(中国) SHARP 夏普株式会社 中国総代表処 上海市 浦東新区 新金桥路28号 上海新金桥大廈15楼1501室 TEL: (021)5834-2085	広州(中国) SHARP 夏普株式会社 広州事務所 広州市光烈中路69号東山広場1907号室 TEL: (020)8732-2081	上記以外の地域及び相談窓口にて連絡がとれない場合は下記にご連絡ください。 シャープ株式会社 商品信頼性本部 サービス企画推進部 TEL: +81-6-6792-1001 FAX: +81-6-6792-8600

- 携帯される地域によっては、ご相談に応じることが困難な場合がある点ご容赦ください。
- 所在地・電話番号などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。

お客様ご相談窓口のご案内(つき)

役立つ情報

用語の解説

	用語	解説	ページ
ア行	オートフォーカス	撮影する被写体にレンズを向けると、自動的に焦点を合わせる機能。	73
カ行	ガンマ撮影	逆光の中や暗いところで撮影するとき、照明を加えなくても被写体を明るめに撮影できる機能。	43
	ガンマ再生	暗く撮影された映像部分を再生時に明るめに見ることができる機能。	79
サ行	再生スタンバイ	再生のとき、撮影スタート場面の頭出しが手軽にできる機能。	78
	撮影効果	画像の色調をモノクロ、セピアなどに変化できる機能。	63
	撮影スタンバイ	録画内容を確認したあと、次に撮影スタートしたい場面の頭出しがワンタッチで行える機能。	47
	シーンアジャスト	オートではきれいに撮りにくかった場面も、モードを選択するだけで手軽にきれいな映像が撮影できる機能。	66
	16:9ワイドモード	画面の上下をカットし、画面の横縦比を約16:9にすることにより、ワイド感のある画面がつけられる機能。	65
	瞬間ズーム	画像をデジタル処理して、瞬時に最大で4倍まで拡大することができる機能と、「2x」「4x」「10x」の3段階で最大10倍まで拡大できるステップアップ機能(いずれも光学式ズーム時のみ)。(瞬間ズームのときは画質が落ちます。水平解像度が光学式ズーム時の約90%劣化します。)	56
	静止画撮影	スナップ、スチル、フォトの3つのモードで静止画を撮ることができます。	58
	ストロボ撮影	約1/5秒間隔で静止画の連続撮影をすること。	62
	ズームアウト	ズームレバーを広角側に押し、被写体を徐々に遠ざけながら撮影すること。	40
	ズームイン	ズームレバーを望遠側に押し、被写体をだんだん近づけて撮影すること。	40
タ行	対面撮影	液晶モニターと向かい合った状態で画面を見ながら撮影すること。	68
	対面メッセージ撮影	対面撮影機能を使って、液晶モニターを見ながらメッセージ感覚で映像と音声を添えられる機能。	70
	デジタルズーム	画像をデジタル処理して、最大400倍まで拡大する機能。(デジタルズームのときは画質が落ちます。最大ズームアップ時の水平解像度が、光学式ズーム最大時の約96%劣化します。)	41
ハ行	ピクチャー・イン・ピクチャー	画面の中に子画面を入れて撮影できる機能。ズームを使うと周りの風景を撮りながら、子画面で一部をクローズアップすることができます。	60
	フェードアウト	撮影終了時に映像と音声を徐々に弱めて消していくこと。	57
	フェードイン	撮影開始時に映像と音声を徐々に強めて撮っていくこと。	57
マ行	メニュー	時計合わせやいろいろな機能の設定を液晶モニターを見ながら行う機能。	30

Quick Start Guide

For preparation,
recording and
playback

VIEWCAM

AUDIO/VIDEO jack (映像/音声)

Terminal cover

Shoulder strap loop

Cassette compartment (押す mark)

Zoom lens

Cassette compartment door

Microphone

Cassette compartment door release

Memory backup battery compartment

Speaker

DC IN jack

Battery compartment door release

Battery compartment door

Tripod socket

Shoulder strap loop

Power zoom control/Volume (音量) control

RECORD START/STOP button (録画スタート/ストップ)

LCD monitor

Remote sensor

CHARGE indicator (充電)

MENU button (メニュー)

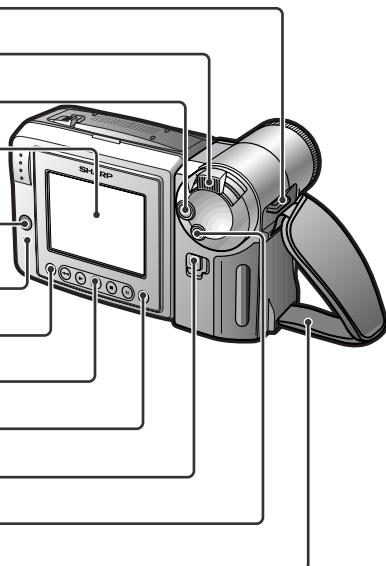
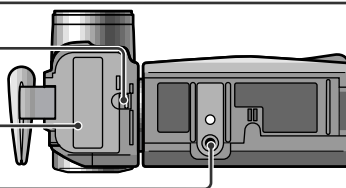
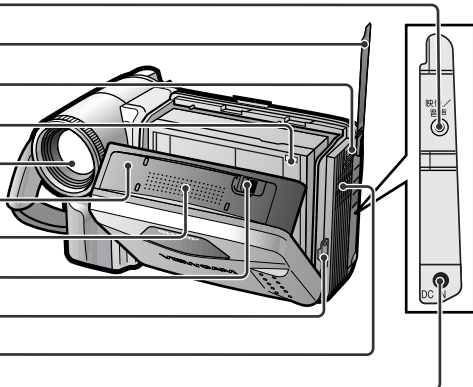
Operation buttons

DISPLAY button (表示入/切)

POWER switch (電源)

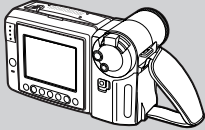
PICTURE-IN-PICTURE/SNAP button (子画面/スチル)

Hand strap

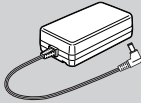


What you need...

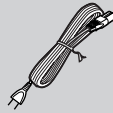
VIEWCAM



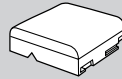
AC adapter



AC cable



Battery pack



Hi8 video cassette
(sold separately)

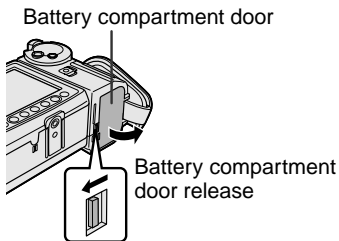


Charging the Battery Pack

- The battery pack needs to be charged before use.
- To charge the battery pack, first perform the following procedure to load it into the VIEWCAM.

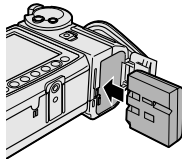
Loading the Battery Pack

1



Slide the battery compartment door release in the direction of the arrow to open the compartment door.

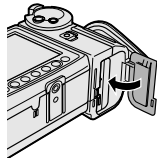
2



Insert the battery pack into the compartment as shown, and push it in completely until it locks into place.

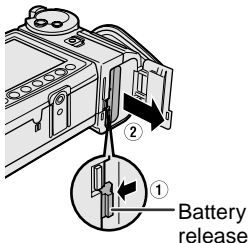
- Do not insert the battery pack in the wrong direction.

3



Close the door, pressing it firmly in the center until it clicks.

Removing the Battery Pack



- ① Open the battery compartment door (see step 1 above).
- ② With the VIEWCAM facing down, press the battery release in the direction of the arrow, and remove the battery pack.

- Firmly grasp the battery pack and pull it out. The battery pack is designed to securely fit inside the battery compartment so as to prevent it from accidentally falling out.
- When removing the battery pack, do not hold the VIEWCAM upright as the battery pack may fall out of the compartment, causing damage to the battery pack.

Cautions

- Do not expose the compartment door to strong force, as it may come off.
- After loading or removing the battery pack, always make sure that the battery compartment door is closed and securely locked. If it is not, the battery pack may fall out during operation.
- Never remove the battery pack during recording or playback. Doing so can cause the tape to become wrapped around the drum.

Note

- Before loading or removing the battery pack, always make sure that the 電源 (POWER) switch is set to 切 (OFF).

Charging the Battery Pack

1



Make sure that the 電源 (POWER) switch is set to 切 (OFF).

- The battery pack will not be charged when the 電源 (POWER) switch is set to カメラ (CAMERA) or ビデオ (VCR).

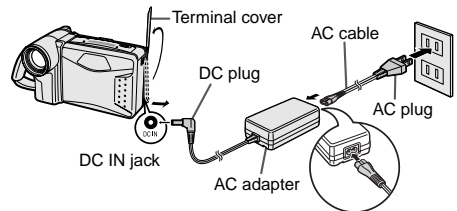
2

Load the battery pack into the VIEWCAM (see page 104).

3

Open the terminal cover on the VIEWCAM and insert the DC plug of the AC adapter into the DC IN jack on the VIEWCAM.

- Do not remove the terminal cover when opening it.



4

Connect the AC cable to the AC adapter, then insert the AC plug of the AC adapter into a power outlet.

- The 充電 (CHARGE) indicator will light up in red.

5



When the battery is fully charged, the 充電 (CHARGE) indicator will turn from red to green. Remove the AC plug from the power outlet, the DC plug from the VIEWCAM, and close the terminal cover.

- When removing the plugs, grasp the plug, not the cable.

Notes

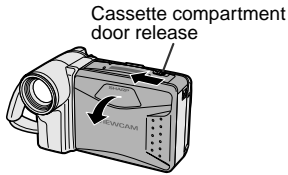
- "Charging time" is the time required to fully charge a depleted battery pack at the normal temperature of 25°C.
- The charging time may vary depending on the ambient temperature and the condition of the battery pack.
- Using the 録画スタート / ストップ (REC START/STOP) button, the zoom and other functions, or turning the power on and off frequently will increase power consumption. As a result, the actual operating time may become even shorter than those listed in the table.
- The recording time may decrease when the VIEWCAM is used in a cold environment.

Approximate charging and operating times

	VR-BH12 (supplied)	VR-BH22 (sold separately)
Charging time	120 min.	240 min.
Continuous recording time	85 min.	180 min.
Actual operating time	35 min.	80 min.

Loading a Tape Cassette

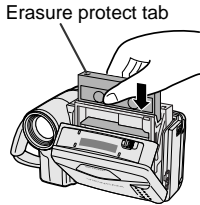
1



Supply power to the VIEWCAM, then slide the cassette compartment door release and open the compartment door.

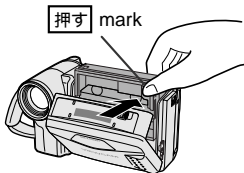
- The cassette holder will extend and open automatically.

2



Insert the cassette fully with the window facing outwards, and with the erasure protect tab facing upwards.

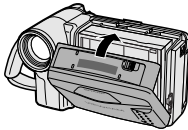
3



Press the **押す** (PUSH) mark gently until the cassette holder clicks into place.

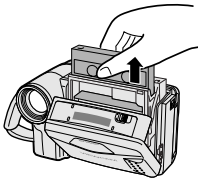
- The cassette holder will retract automatically.
- If the VIEWCAM's cassette protection mechanism ejects the cassette, repeat the insertion process.

4



Wait for the cassette holder to fully retract, then close the compartment door, pressing it in the center until it clicks into place.

Removing a Cassette



Perform step 1 in the above procedure, then take out the cassette.

Cautions

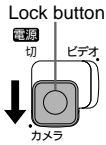
- Do not tilt the VIEWCAM or hold it upside down when you load or remove a cassette. This may damage the tape.
- Never move the 電源 (POWER) switch when the cassette holder is extending or retracting.
- Do not try to close the cassette compartment door while the cassette holder is extending or retracting.
- Do not press too hard on the cassette compartment door.
- Do not attempt to pick up the VIEWCAM by the cassette compartment door.

Notes

- Before loading the cassette, make sure that the erasure protect tab on the back side is in the open position.
- If the cassette compartment door does not close smoothly, slide the door release and try closing the door again by pressing it in the center.
- Remove the cassette if you will not use the VIEWCAM for a long period of time.

Camera Recording

1



Hold down the lock button and set the 電源 (POWER) switch to カメラ (CAMERA).

2



Press the 録画スタート/ストップ (RECORD START/STOP) button.

- To stop recording, press the 録画スタート/ストップ (RECORD START/STOP) button again.

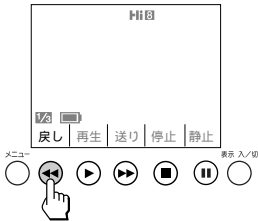
Playback

1



Hold down the lock button and set the 電源 (POWER) switch to ビデオ (VIDEO).

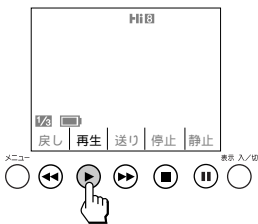
2



Press the ◀◀ button to select“ 戻し ” (REWIND) and rewind the tape to its start position.

- To fast forward the tape, press the ▶▶ button to select“ 送り ”(FAST FORWARD).

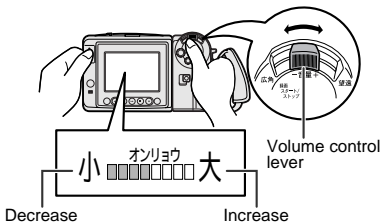
3



Press the ▶ button to select“ 再生 ” (PLAYBACK).

- To stop playback, press the ■ button to select“ 停止 ”(STOP).

Adjusting the Volume



Push the 音量 (VOLUME) control lever during playback to adjust the volume to the desired level.

- Push the lever to the right (+) to increase the volume or the left (-) to decrease the volume.

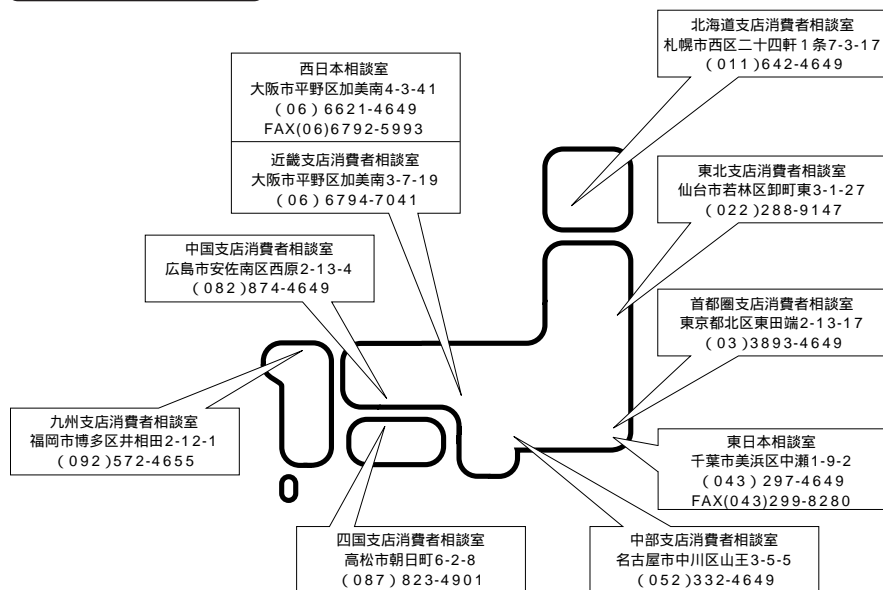
修理サービスを依頼される前に、94ページの「故障かな?と思ったら」をもう一度お読みください。

【お問い合わせは】

この製品についてのご意見・ご質問は、シャープお客様ご相談窓口「一般ご相談窓口」へお申し付けください。製品の故障や部品のご購入などの相談は「修理ご相談窓口」へお申し付けください。

(くわしくは98ページをご覧ください。)

一般ご相談窓口



シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話 06(6621)1221(大代表)

AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地
電話 0287(43)1131(大代表)